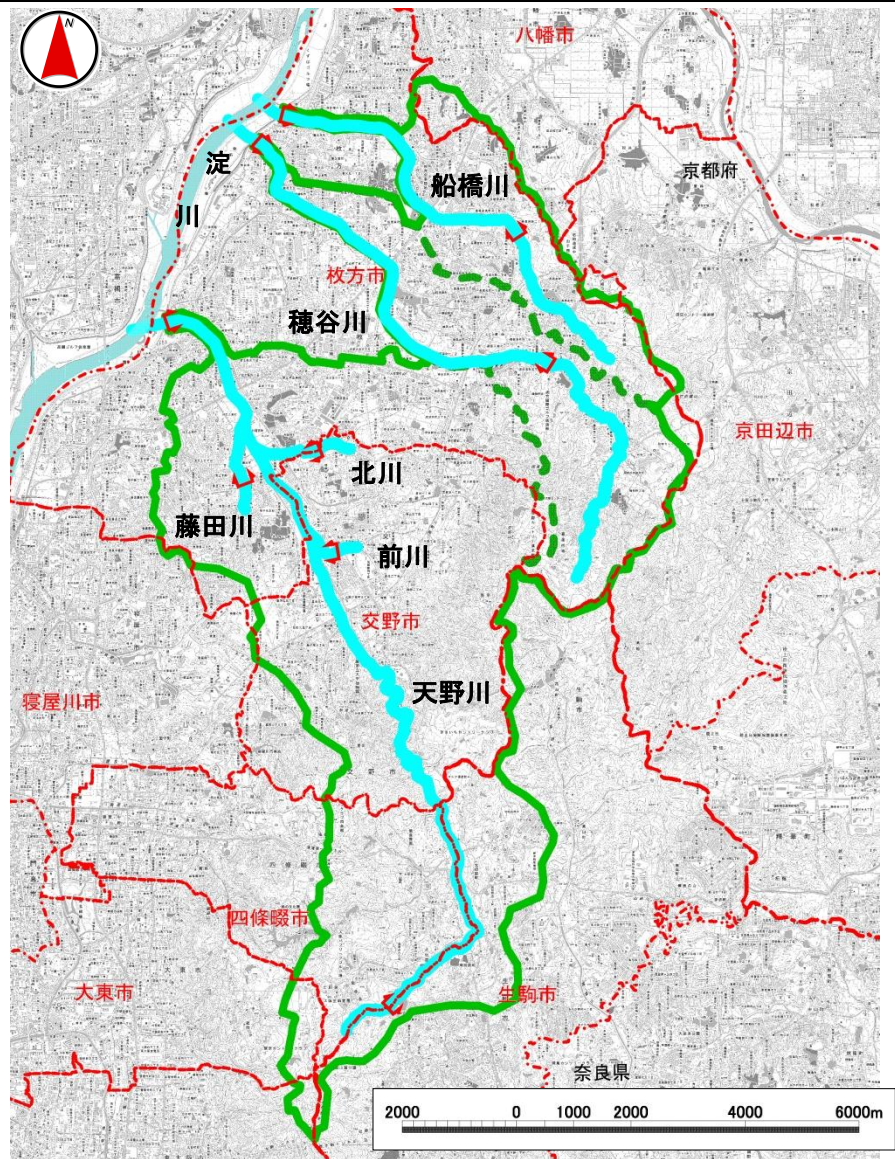

淀川水系 淀川左岸ブロック (天野川・穂谷川・船橋川水系) 流域の概要について

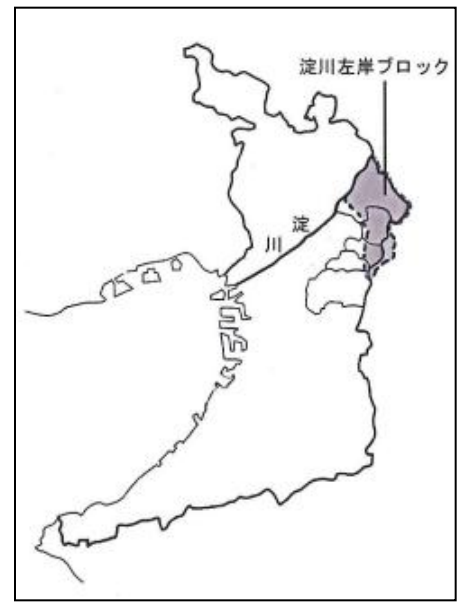
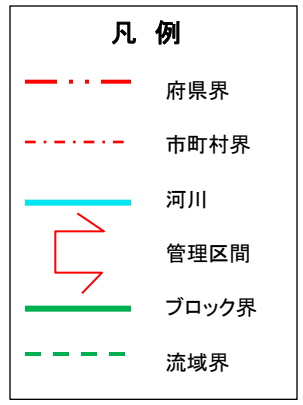
1. 淀川左岸ブロックの現状
2. 淀川左岸ブロックの特性
3. 治水事業の概要
4. 既往の治水計画の概要

1. 淀川左岸ブロックの現状

淀川左岸ブロックは、淀川左岸に合流する天野川、穂谷川、船橋川の3つの一級河川流域で構成され、流域は枚方市、交野市、四條畷市、大東市、東大阪市及び生駒市の6市にまたがっている。



水系名	流域面積 (km ²)	指定区間延長 (km)
天野川	51.3	14.9
・前川	4.5	0.7
・北川	7.4	1.3
・藤田川	2.7	1.0
穂谷川	14.4	7.8
船橋川	8.7	5.2



淀川左岸ブロック 流域図

1. 淀川左岸ブロックの現状

淀川水系淀川左岸ブロックの河川整備計画は、平成15年4月に策定されている。

淀川水系淀川左岸ブロックの河川整備審議会の審議状況は、次の通りである。

- ・天野川及び天野川支川の前川については、平成23年度に審議を行い、当面の治水目標と治水手法が審議済みである。
- ・天野川支川の北川及び藤田川、穂谷川、船橋川について、今回より審議を行う。

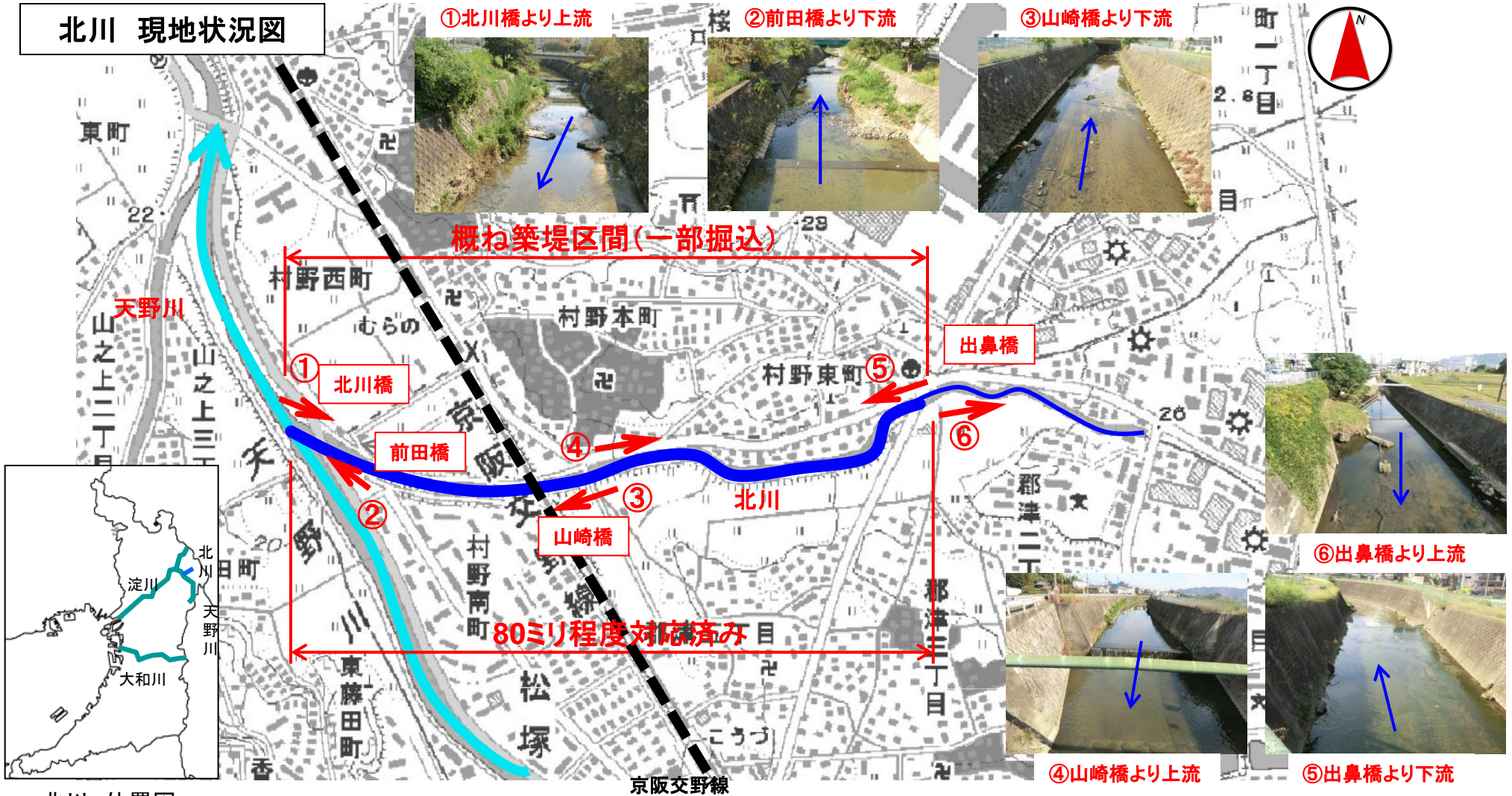
淀川水系淀川左岸ブロックの審議状況

水系名	審議会もしくは治水部会開催状況
天野川	平成23年度第9回河川整備委員会で 当面の治水目標と治水手法が審議済み
・前川	〃
・北川	今回審議予定
・藤田川	〃
穂谷川	〃
船橋川	〃

1. 淀川左岸ブロックの現状(北川)

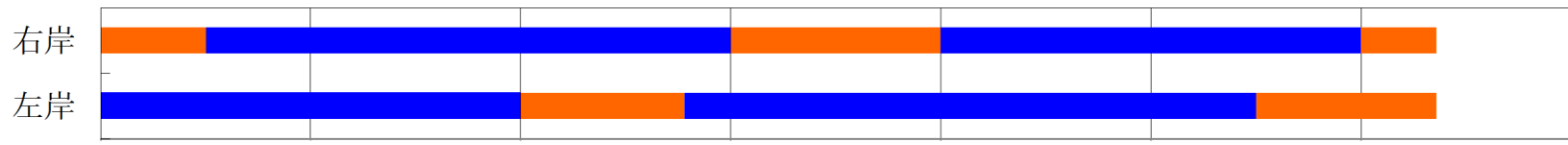
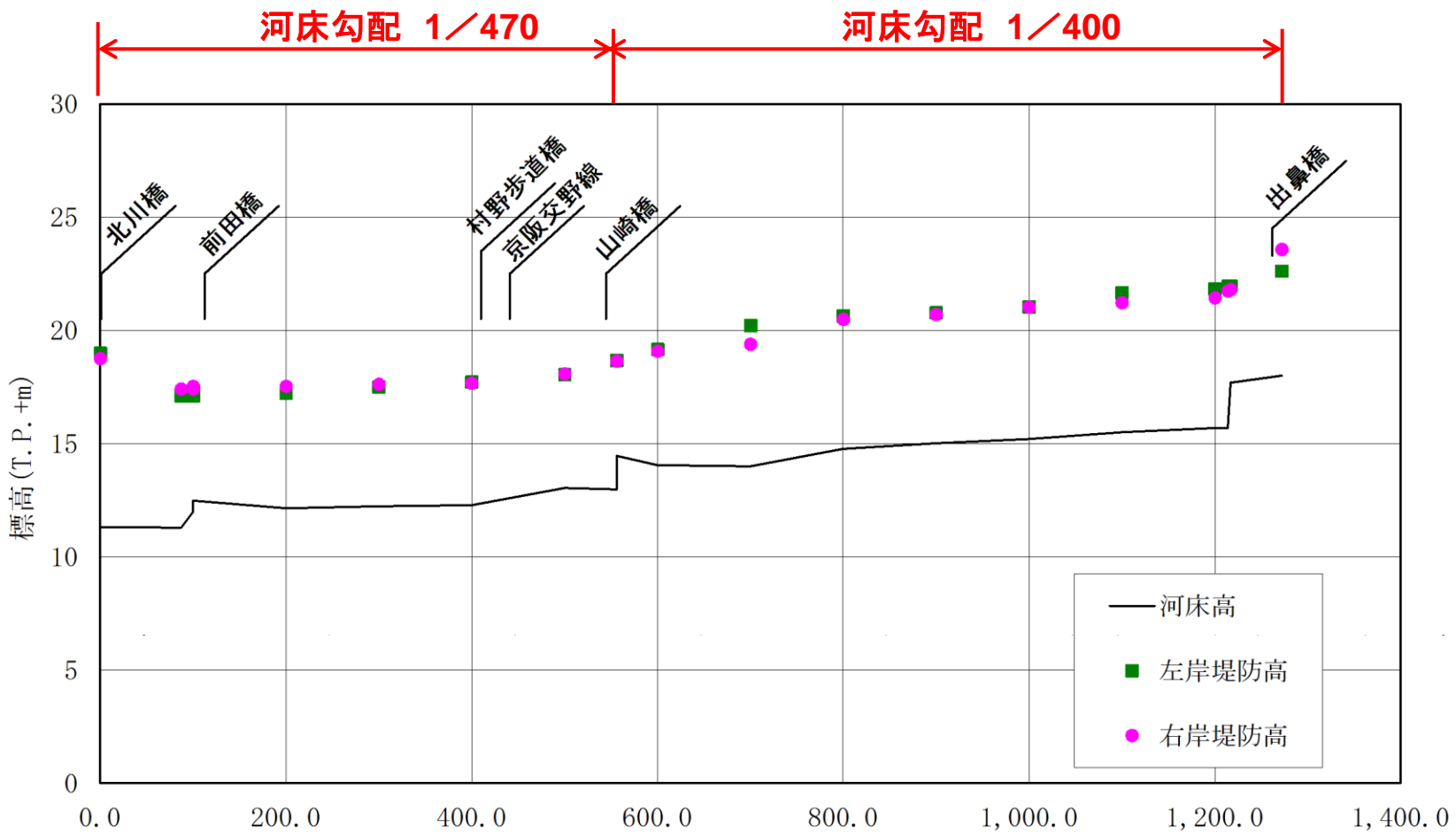
- ・天野川の支川で、市街化した平野部を貫流し、天野川へ合流する。
- ・川幅は、約15m、河床勾配は1/400~1/470程度で、ブロック積護岸で整備されている。

北川 現地状況図



北川 位置図

1. 淀川左岸ブロックの現状(北川縦断形状)



■ 築堤 ■ 掘込

1. 淀川左岸ブロックの現状(藤田川)

- ・天野川の支川で、市街化した平野部を貫流し、天野川へ合流する。
- ・川幅は、約10m、河床勾配は1/240程度で、ブロック積護岸で整備されている。

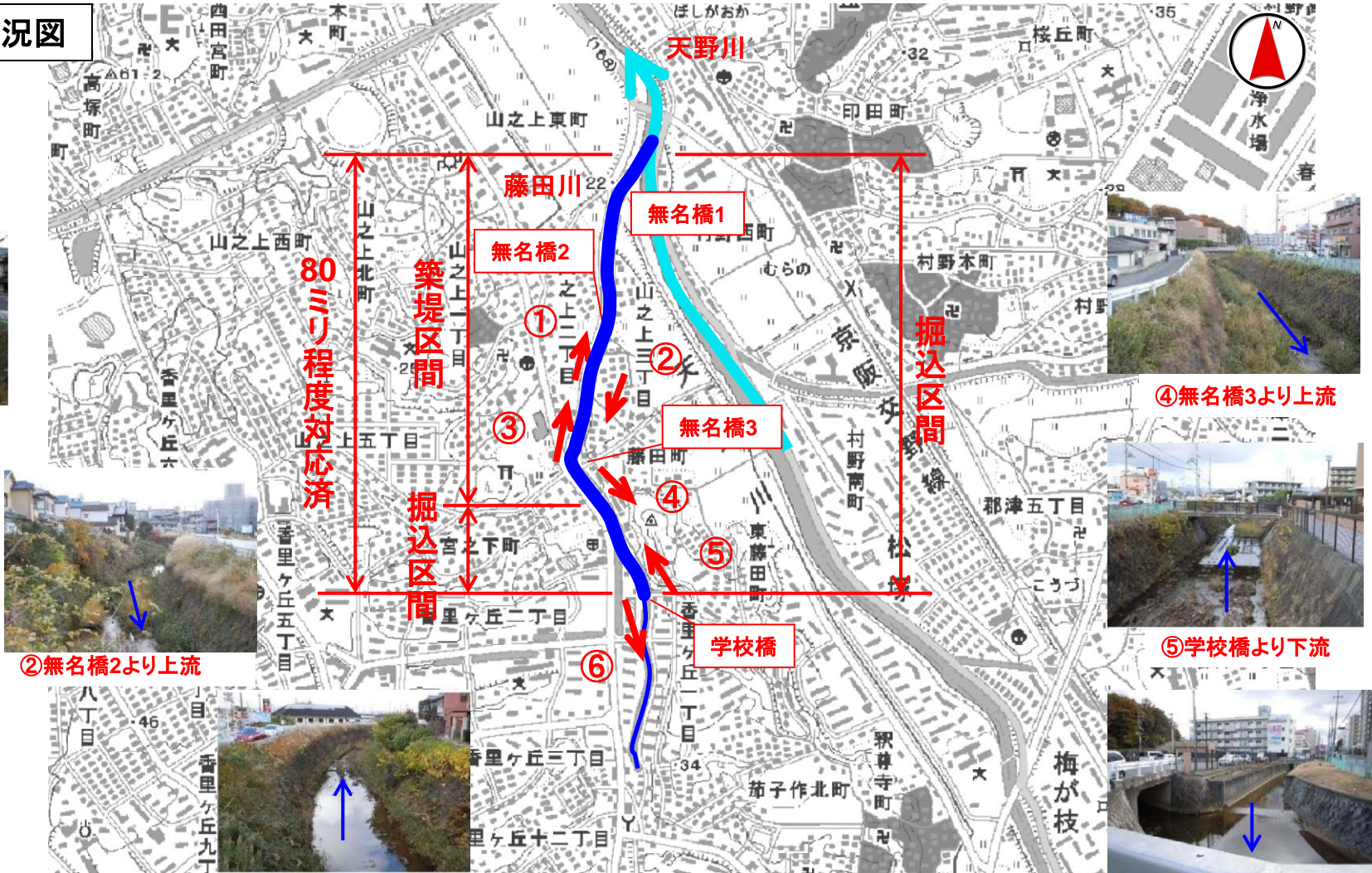
藤田川 現地状況図



①無名橋2より下流



藤田川 位置図



②無名橋2より上流



③無名橋3より下流



④無名橋3より上流



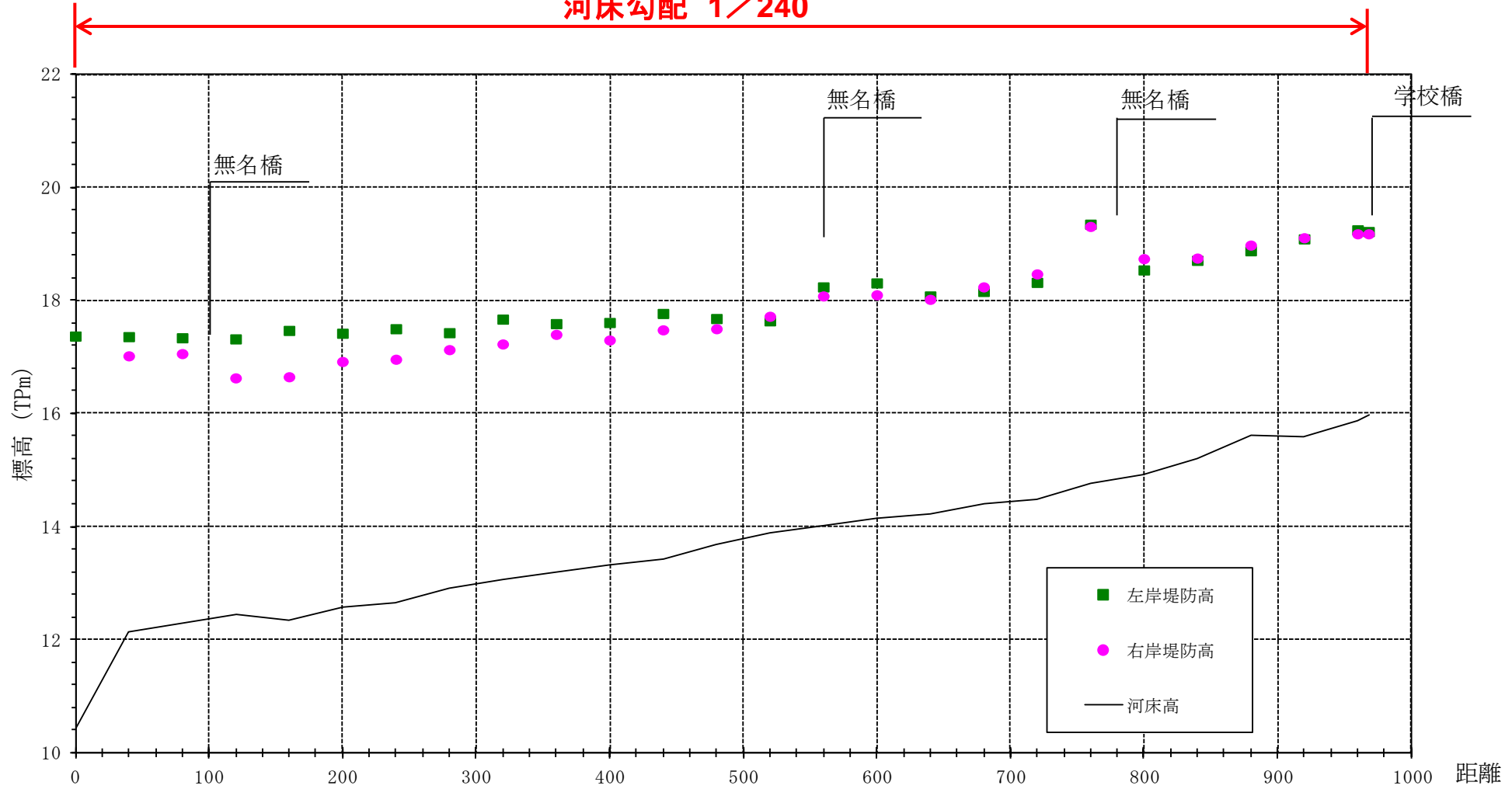
⑤学校橋より下流



⑥学校橋より上流

1. 淀川左岸ブロックの現状 (藤田川縦断形状)

河床勾配 1/240



■ 築堤 ■ 掘込

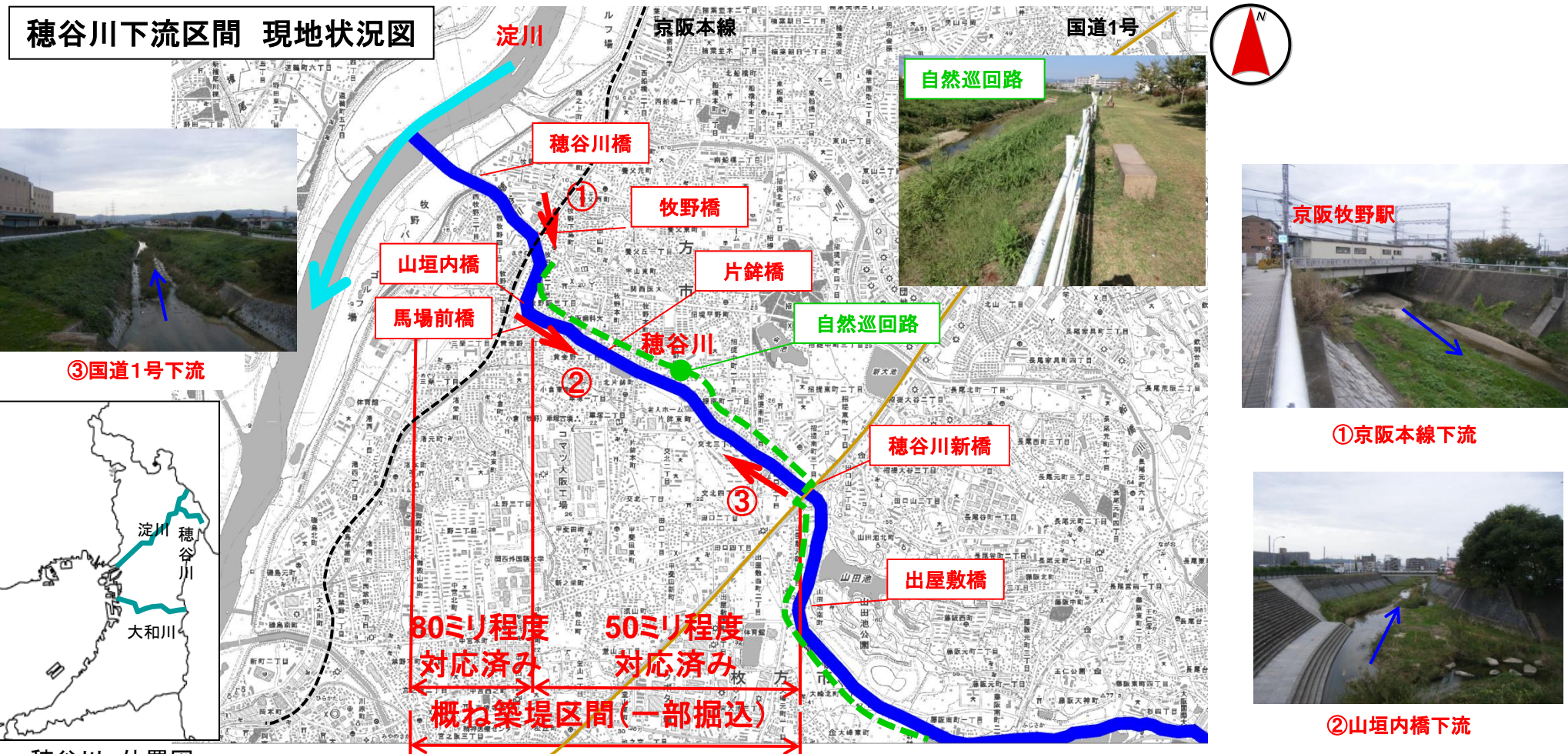
1. 淀川左岸ブロックの現状(穂谷川)

流域は枚方市、流域面積約14.4 km²、河川延長約7.7kmの一級河川。

○下流区間

- ・概ね築堤区間となっており、川幅は約20~30m、河床勾配は1/200~1/740程度である。
- ・大部分が市街化した平野部を貫流し淀川に合流し、ブロック積護岸の複断面形状となっている。
- ・沿川は自然巡回路が整備されており、憩いの空間として利用されている。

穂谷川下流区間 現地状況図



③国道1号下流



穂谷川 位置図



京阪牧野駅

①京阪本線下流



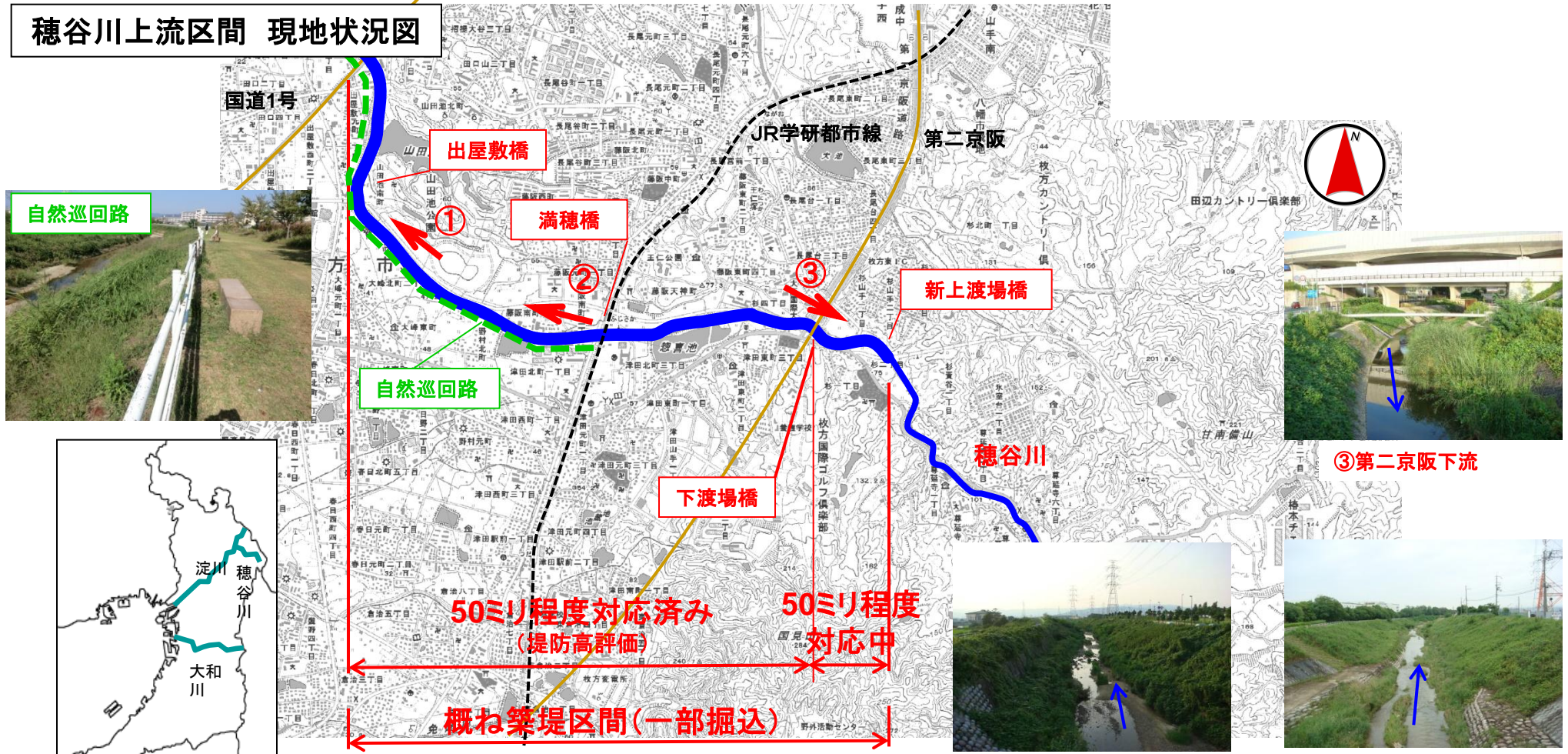
②山垣内橋下流

1. 淀川左岸ブロックの現状(穂谷川)

○中上流区間

- ・概ねJR学研都市線より下流は築堤となっており、上流は築堤・掘込区間が混在している。
- ・川幅は約20m、河床勾配は1/220程度である。
- ・沿川には自然巡回路が整備されており、憩いの空間として利用されている。

穂谷川上流区間 現地状況図

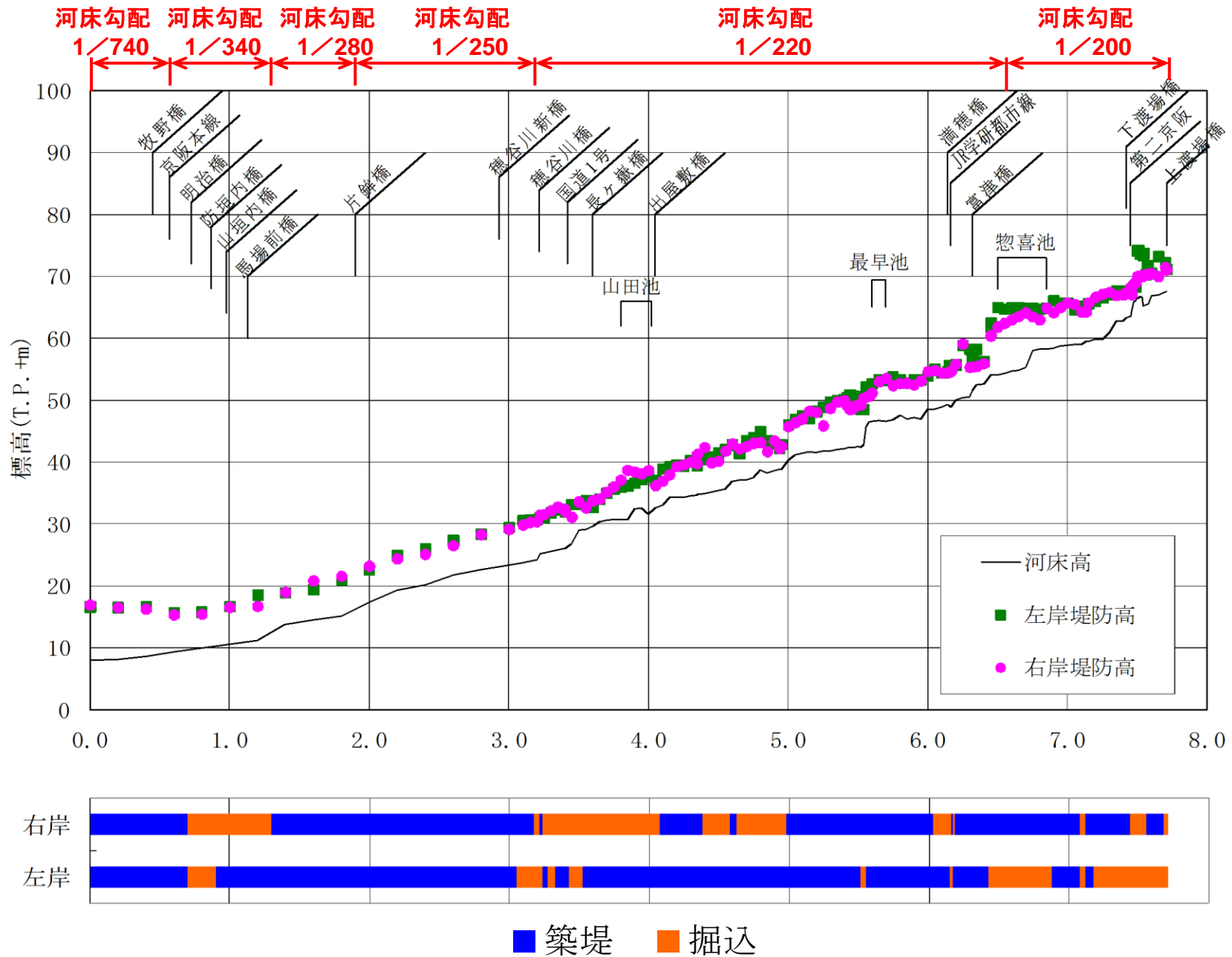


穂谷川 位置図

①山田池公園付近

②JR学研都市線下流

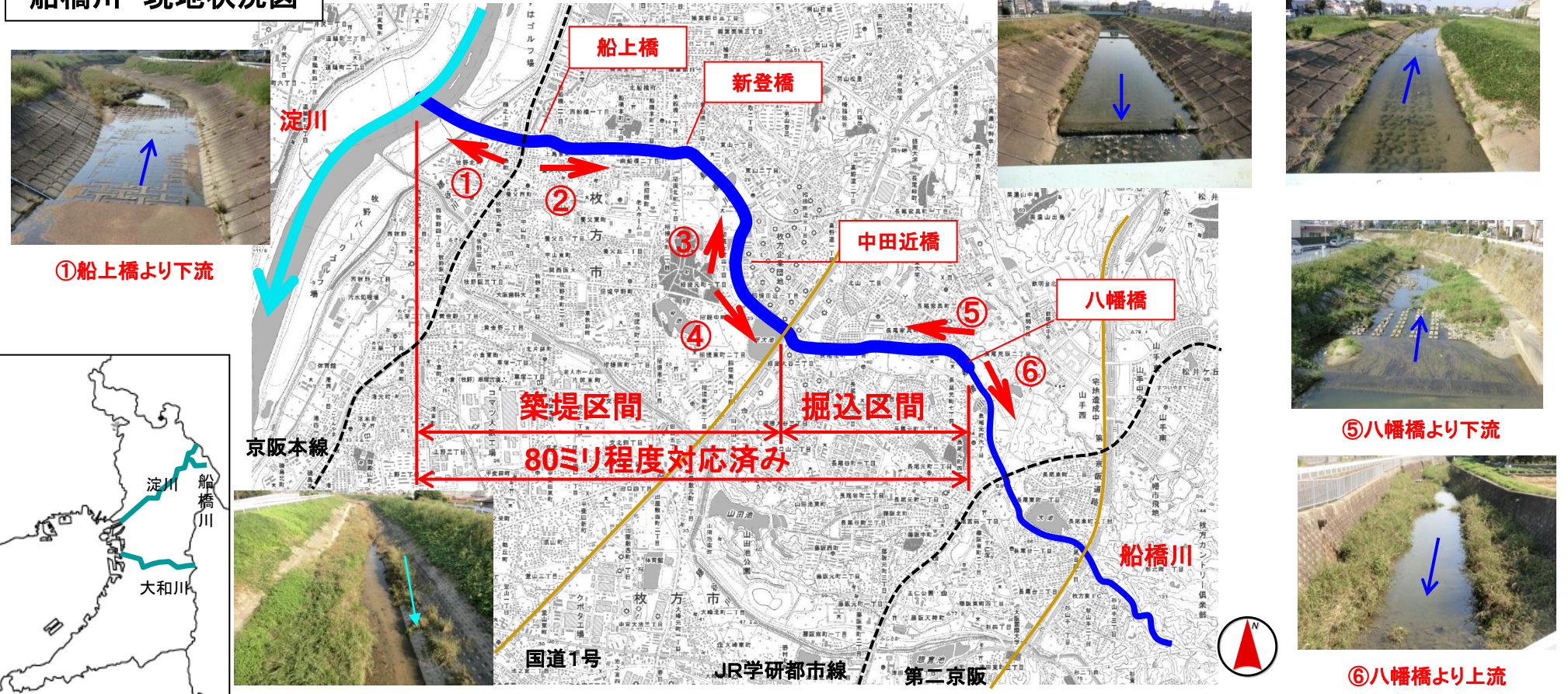
1. 淀川左岸ブロックの現状(穂谷川縦断形状)



1. 淀川左岸ブロックの現状(船橋川)

- ・大部分が市街化した平野部を貫流し淀川に合流する。
- ・国道1号より下流は築堤、上流は掘込区間となっている。
- ・川幅は、約20m~50mで河床勾配は1/350~1/180程度となっている。
- ・中、上流部には田畑や集合住宅が連なり、ブロック張護岸となっている。

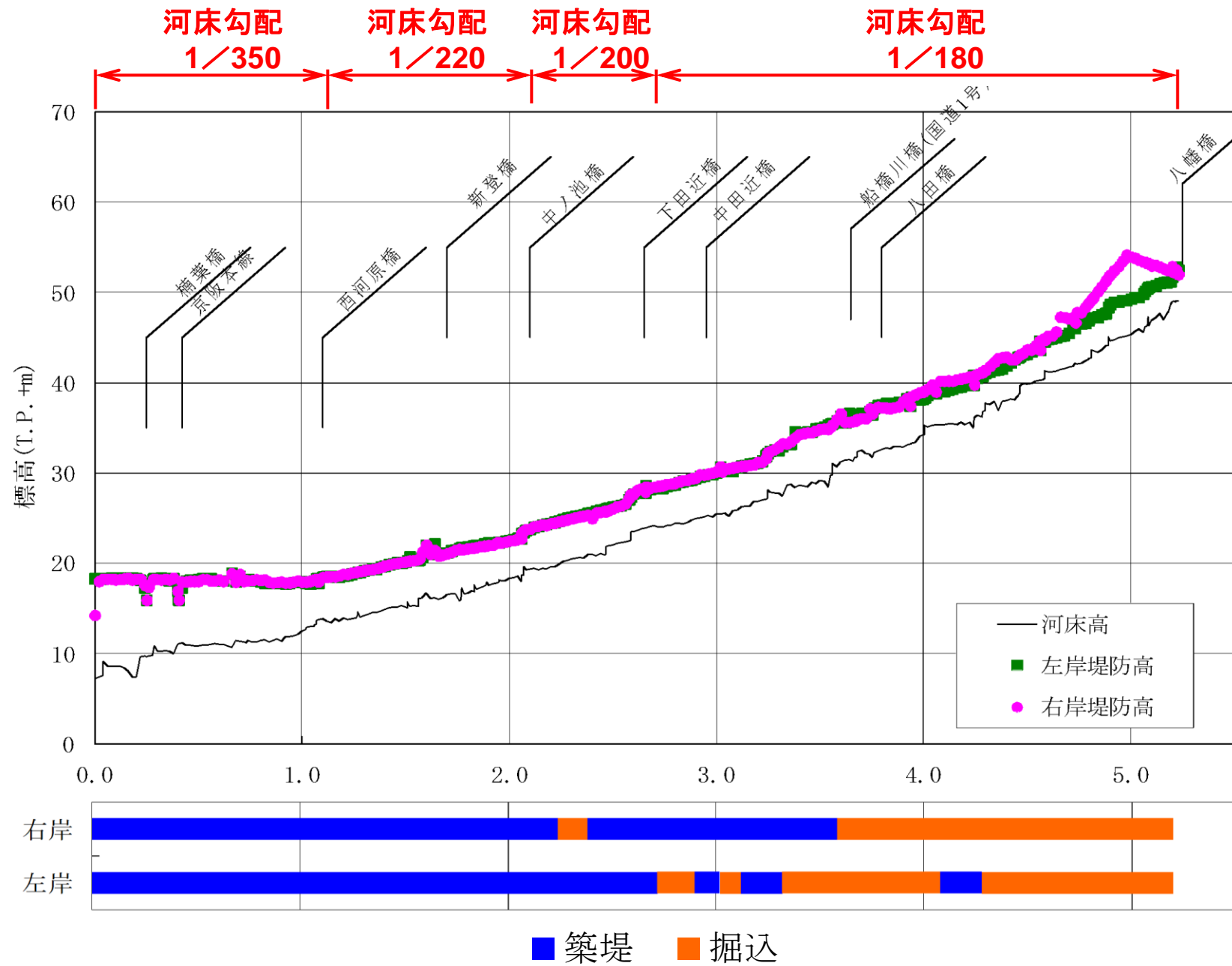
船橋川 現地状況図



船橋川 位置図

②船上橋より上流

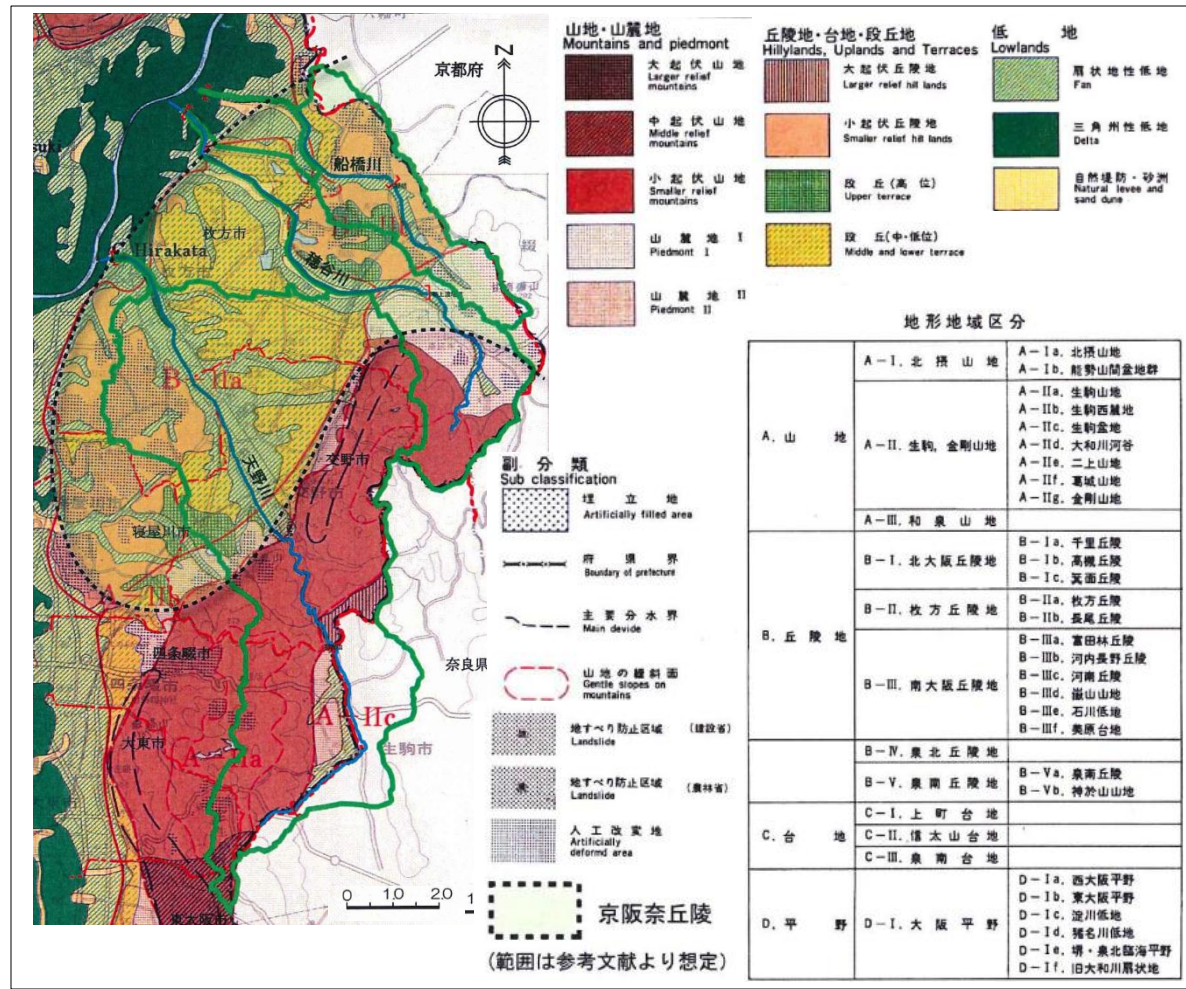
1. 淀川左岸ブロックの現状(船橋川縦断形状)



2. 淀川左岸ブロックの特性

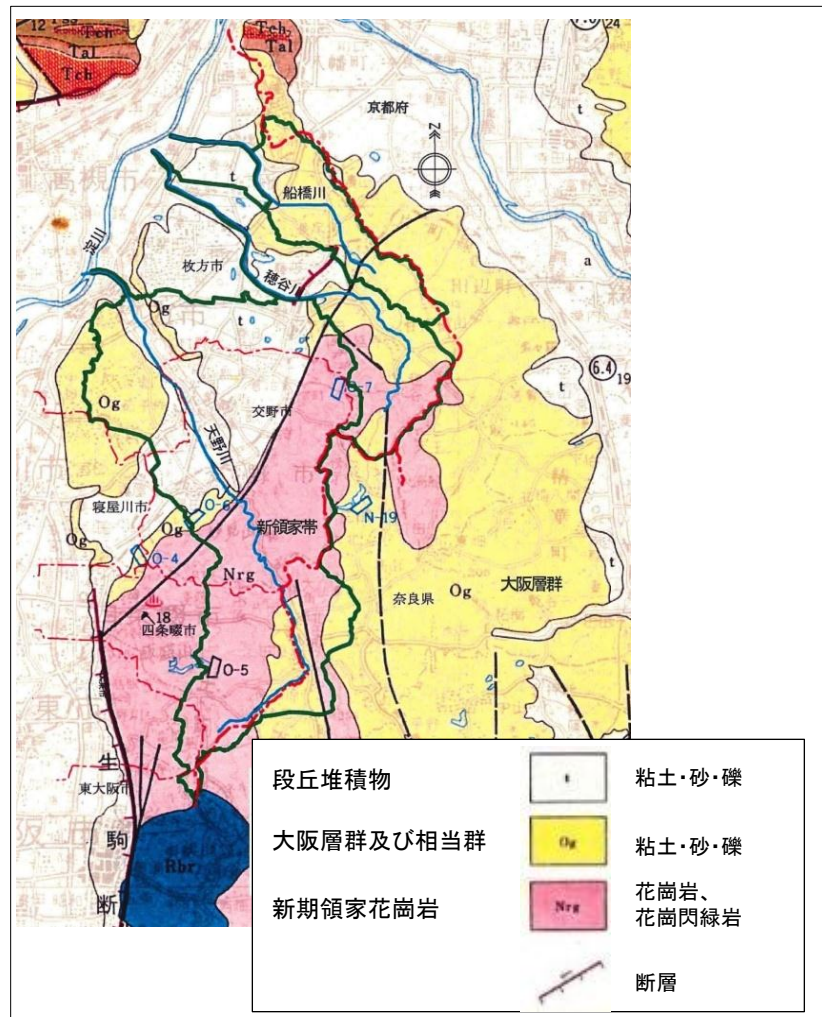
●地形・地質

- ・生駒西麓地と呼ばれる山地地形や京阪奈丘陵の一部の枚方丘陵から成り、起伏に富んだ地形である。
- ・地質については、天野川、穂谷川上流部は新領家帯に属する花崗岩地帯及び大阪層群、下流部は河川、海沿いに分布する段丘堆積物により形成されている。



出典：「地形分類図」

「改訂・近畿地方の保護上重要な植物」(1995年)



出典：「近畿地方土木地質図」(1981年)

2. 淀川左岸ブロックの特性

● 植生

- ・山間部は、アベマキ・コナラ群集の分布域が広がっているが、アカマツ植林、ゴルフ場・芝地が散在している。
- ・平地部は、市街地が多くを占めるが、水田雑草群落も見られる。



41.270200	アラカシ群落
46.271102	カナメモチーコジイ群落
58.300104	ケヤキムクノキ群落
60.320100	ヤナギ高木群落(VI)
66.400100	シイ・カシ二次林
69.410105	アベマキ・コナラ群落
70.420102	モチツツジ・アカマツ群落
79.460000	伐採跡地群落(VII)
82.470400	ヨシクラス
85.470502	オギ群落
91.540100	スギ・ヒノキ・サワラ植林
92.540200	アカマツ植林
95.541000	その他植林
96.550000	竹林
h.560100	ゴルフ場・芝地
g.560200	牧草地
f.570100	路傍・空地雑草群落
c.570101	放棄畑雑草群落
e.570200	果樹園
a.570300	畑雑草群落
b.570400	水田雑草群落
d.570500	放棄水田雑草群落
k.580100	市街地
i.580101	緑の多い住宅地
p.580200	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
L.580300	工場地帯
m.580400	造成地
w.580600	開放水域
r.580700	自然裸地



2. 淀川左岸ブロックの特性

●魚類(1/3)

- ・下流部はコイやギンブナが多くみられる。
中流部はカワヨシノボリ、上流部はトウヨシノボリやカワヨシノボリが確認されている。
- ・水田や河川敷の水たまりを産卵場とし、大阪府レッドデータブックの絶滅危惧Ⅱ類であるドジョウ等の貴重種も確認されている。
- ・近年の調査(枚方いきもの調査会)において、新天野川橋下流でアユの遡上が確認されている。

※ 枚方いきもの調査会: 市民自らの手で市内に残る自然の調査や保護に取り組む自主的な会



コイ



ギンブナ

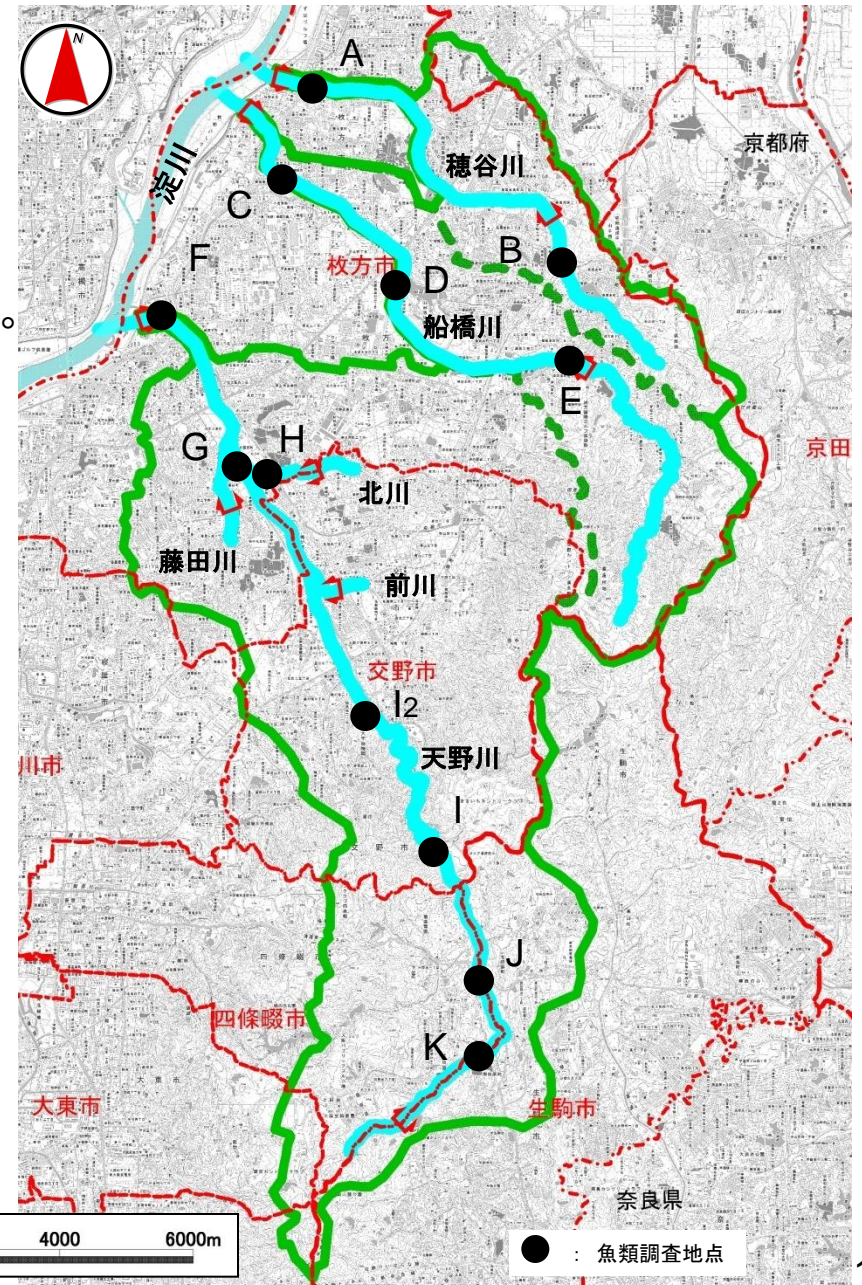


カワヨシノボリ



ドジョウ

写真出典:「川の生物事典」発行 山海堂



● : 魚類調査地点

2. 淀川左岸ブロックの特性

●魚類(2/3)

表 魚類確認状況

分類	名称	環境省 レッドブック	大阪府レッド データブック	船橋川				穂谷川																					
				A	B	A	B	A	B	A	B	C	D	E	C	D	E	C	D	E	C	D	E						
				※1	平成3年 11月	平成13年 11月	平成18年 11月	平成24年 10月	平成3年7月	平成8年10月	平成8年11月	平成13年3月	平成18年11月	平成24年10月	平成3年7月	平成8年10月	平成8年11月	平成13年3月	平成18年11月	平成24年10月	平成3年7月	平成8年10月	平成8年11月	平成13年3月	平成18年11月	平成24年10月			
コイ科	オイカワ	—	—							○																			
	タモロコ	—	要注目種			○	○	○	○	○	○						○	○		○				○	○		○	○	
	モツゴ	—	—			○	○	○	○	○	○																		
	コイ	—	—	○	○																								
	ニゴイ	—	—																										
	コウライニゴイ	—	—																										
	ギンブナ	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○																		
	トモロコ	—	準絶滅危惧種																										
	コウライモロコ	—	要注目種																										
	カマツカ	—	要注目種																										
	カワムツ	—	A型は絶滅危惧I類																										
	ヌマムツ	—	—																										
	カワムツB型	—	—																										
	ゲンゴロウブナ	絶滅危惧I B類	—						○																				
	タイリクバラタナゴ	—	—						○		○																		
	キンキョ	—	—																										
ハゼ科	ツマヨシノホリ	—	情報不足							○	○																		
	カワヨシノホリ	—	—					○																					
	トウヨシノホリ	—	—							○	○																		
	ドンコ	—	要注目種					○																					
ドジョウ科	ツマドジョウ(アツドジョウ)	※2	絶滅危惧II類																										
	ドジョウ	—	絶滅危惧II類					○																					
	カムルチー	—	—																										
ギキ科	ギキ	—	準絶滅危惧種																										
ウナギ科	ウナギ	—	—																										
タウナギ科	タウナギ	絶滅危惧I B類	—							○																			
アユ科	アユ	—	—																										
カダヤシ科	カダヤシ	—	—																										
	グッピー	—	—																										
ナマス科	ナマス	—	—																										
サンフィッシュ科	オオクチバス(ブラックバス)	—	—																										
	ブルーギル	—	—																										
ドンコ科	ドンコ	—	要注目種																										
メダカ科	メダカ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類																										

※1:平成4年

※2:絶滅のおそれのある地域個体群

○が確認

出典:「一級河川芥川外田自然型護岸検討委託報告書」平成4年3月
 「一級河川穂谷川ふるさとの川整備計画策定業務報告書」平成9年3月
 「一級河川千里川外多自然型護岸検討委託報告書」平成9年3月
 「一級河川箕面川外多自然型護岸検討委託報告書」平成10年3月
 「一級河川天野川外多自然型護岸検討委託報告書」平成13年12月
 「一級河川天野川水辺環境調査委託(日の出橋~八幡橋)報告書」平成15年9月
 「一級河川穂谷川外多自然型護岸検討委託報告書」平成19年2月
 「河川水辺環境調査業務」平成24年
 「環境省レッドリスト」平成19年8月
 「大阪府レッドデータブック」平成12年3月

表 保護上重要な野生生物のカテゴリー

区分	備考
絶滅危惧I類	絶対の危機に瀕している種
絶滅危惧II類	全滅の危険が増大している種
準絶滅危惧	存続基盤が貧弱な種
情報不足	評価するだけの情報が不足している種
要注目	注目を要する種

2. 淀川左岸ブロックの特性

●魚類(3/3)

表 魚類確認状況

分類	名称	環境省 レッドブック	大阪府レッド データブック	天野川																																			
				「水辺の国勢調査 平成4年3月」 平成3年7月						平成8年10月						平成13年9月						※1 平成18年11月						平成24年10月											
				F	G	H	I	J	K	F	G	H	I	J	K	F	G	H	I	J	K	I2	F	G	H	I	J	K	F	G	H	I	J	K					
コイ科	オイカワ	-	-	○	○							○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	タモロコ	-	要注目種									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	モツゴ	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コイ	-	-	○								○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ニコイ	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コウライニコイ	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	キンブナ	-	-	○	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	イトモロコ	-	準絶滅危惧種									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コウライモロコ	-	要注目種									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カマツカ	-	要注目種									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カラムツ	-	A型は絶滅危惧Ⅰ類									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヌマムツ	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カラムツB型	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ゲンゴロウブナ	絶滅危惧ⅠB類	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	タイリクバラタナゴ	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	キンギョ	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハゼ科	ツマヨシノボリ	-	情報不足									○	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	カワヨシノボリ	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トウヨシノボリ	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ドンコ	-	要注目種									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドジョウ科	ツマドジョウ(アツドジョウ)	※2	絶滅危惧Ⅱ類									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ドジョウ	-	絶滅危惧Ⅱ類									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カムルチー	-	-	○								○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ギギ科	ギギ	-	準絶滅危惧種									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウナギ科	ウナギ	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
タウナギ科	タウナギ	-	絶滅危惧ⅠB類									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アユ科	アユ	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カダヤシ科	カダヤシ	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	グッピー	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナマズ科	ナマズ	-	-									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サンフィッシュ科	オオクチバス(ブラックバス)	-	-	○								○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ブルーギル	-	-	○								○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドンコ科	ドンコ	-	要注目種									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マダカ科	マダカ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類									○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1:平成15年度
※2:絶滅のおそれのある地域個体群

出典:「一級河川芥川外田自然型護岸検討委託報告書」平成4年3月
 「一級河川穂谷川ふるさとの川整備計画策定業務報告書」平成9年3月
 「一級河川千里川外多自然型護岸検討委託報告書」平成9年3月
 「一級河川箕面川外多自然型護岸検討委託報告書」平成10年3月
 「一級河川天野川外多自然型護岸検討委託報告書」平成13年12月
 「一級河川天野川水辺環境調査委託(日の出橋~八幡橋)報告書」平成15年9月
 「一級河川穂谷川外多自然型護岸検討委託報告書」平成19年2月
 「河川水辺環境調査業務」平成24年
 「環境省レッドリスト」平成19年8月
 「大阪府レッドデータブック」平成12年3月

表 保護上重要な野生生物のカテゴリー

区分	備考
絶滅危惧Ⅰ類	絶対の危機に瀕している種
絶滅危惧Ⅱ類	全滅の危険が増大している種
準絶滅危惧	存続基盤が貧弱な種
情報不足	評価するだけの情報が不足している種
要注目	注目を要する種

○が確認

2. 淀川左岸ブロックの特性

●鳥類

- ・下流部の流れが緩やかな淵に、多くの鳥類が確認されている。特にサギ類が多く確認されている。
- ・また、大阪府レッドデータブックの準絶滅危惧種であるカワセミ、オオヨシキリ、要注目種であるカワウも確認されている。
- ・近年の調査(2011年 枚方いきもの調査会※)においても、山田池公園等で56種が確認されカワセミ、オオヨシキリ、カワウの貴重種も確認されている。

※ 枚方いきもの調査会: 市民自らの手で市内に残る自然の調査や保護に取り組む自主的な会



オオヨシキリ



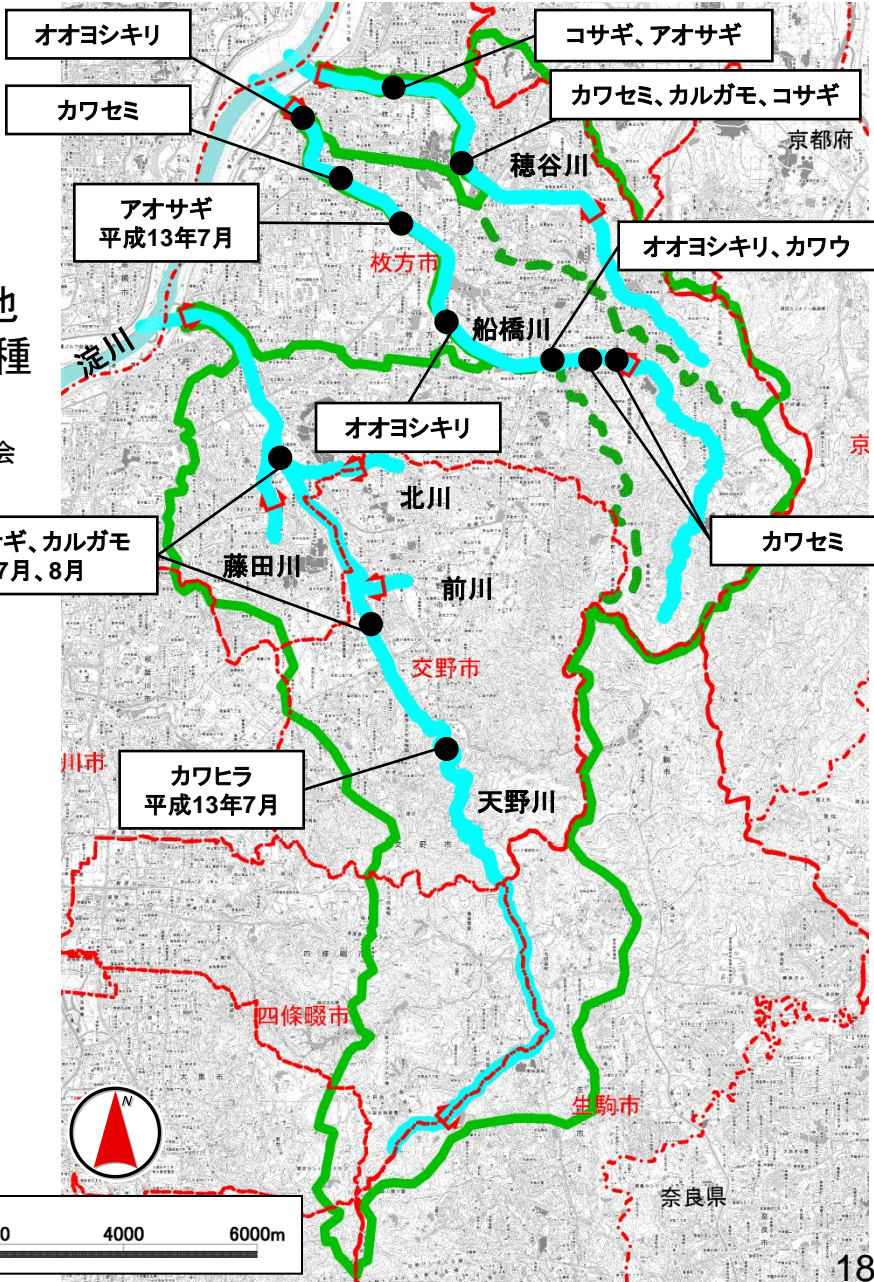
カワセミ



カワウ

表 保護上重要な野生生物の 카테고리

区分	備考
絶滅危惧Ⅰ類	絶対の危機に瀕している種
絶滅危惧Ⅱ類	全滅の危険が増大している種
準絶滅危惧	存続基盤が貧弱な種
情報不足	評価するだけの情報が不足している種
要注目	注目を要する種



出典:「一級河川穂谷川ふるさとの川整備計画策定業務報告書」平成9年3月
 「一級河川天野川測量および予備設計委託」平成7年3月
 「船橋川ルネッサンス計画委託報告書」平成4年2月
 「環境省レッドリスト」平成24年10月
 「大阪府における保護上重要な野生生物—大阪府レッドデータブック—」平成12年3月
 写真「川の生物事典」発行 山海堂

2. 淀川左岸ブロックの特性

●昆虫類

- ・昆虫は、タガメやナニワトンボなど環境省レッドリスト、大阪府レッドデータブックに掲載されている昆虫も確認されている。
- ・近年の調査(2011年 枚方いきもの調査会*)において、山田池公園等で11目491種が確認されている。

※ 枚方いきもの調査会:市民自らの手で市内に残る自然の調査や保護に取り組む自主的な会

記号	種名	選定基準	環境省レッドリスト	大阪府レッドデータブック
2	ムカシヤンマ	指	-	準絶滅危惧
3	ハッチョウトンボ	指	-	準絶滅危惧
5	タガメ	指	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
6	ハルゼミ	指	-	-
14	ベニイトトンボ	D	-	-
20	アオヤンマ	D・G	-	絶滅危惧Ⅱ類
21	オオルリボシヤンマ	G	-	準絶滅危惧
24	オオエイトトンボ	D	-	-
26	ヨツボシトンボ	D	-	-
27	ナニワトンボ	D・G	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
45	アオマツムシ	G	-	-
48	タイワンカンタン	G	-	-
54	オオクロカメムシ	D	-	-
65	チツゼミ	G	-	-
105	アメリカジカバチ	G	-	-

※選定基準
 指: 環境庁が選定した指標昆虫
 A: 日本国内では、そこしか産しないと思われる種
 B: 分布域が国内若干の地域に限定されている種
 C: 普通種であっても、北限・南限など分布限界になるとと思われる産地に分布する種
 D: 当該地域において絶滅の危機に瀕している種
 E: 近年当該地域において絶滅したと思われる種
 F: 業者あるいはマニアなどの乱獲により、当該地域での個体数の著しい減少が心配される種
 G: 環境指標として適当であると考えられる種



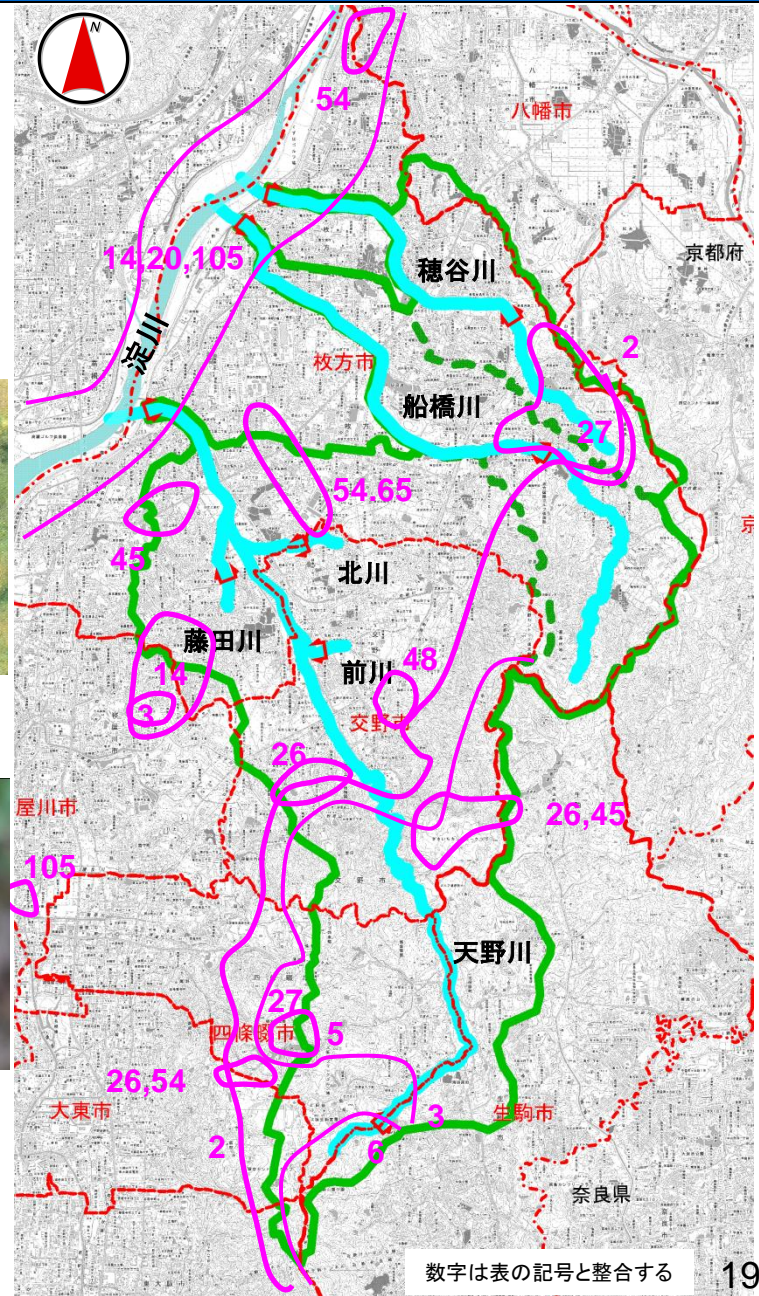
写真出典:「大阪の自然ガイドブック」発行 農林水産振興事業委員会



写真出典:「大阪府トンボ図鑑」HPより

表 保護上重要な野生生物のカテゴリー

区分	備考
絶滅危惧Ⅰ類	絶対の危機に瀕している種
絶滅危惧Ⅱ類	全滅の危険が増大している種
準絶滅危惧	存続基盤が貧弱な種
情報不足	評価するだけの情報が不足している種
要注目	注目を要する種

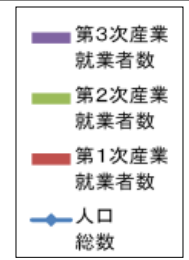
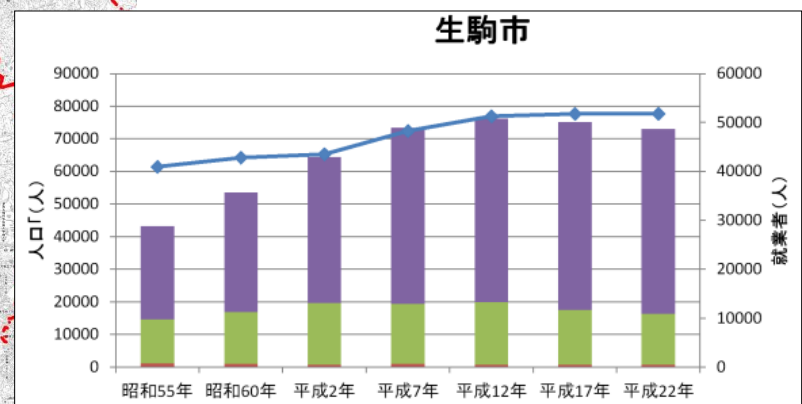
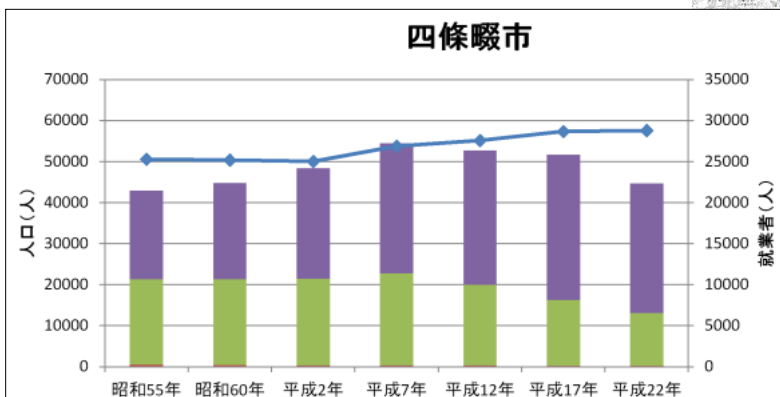
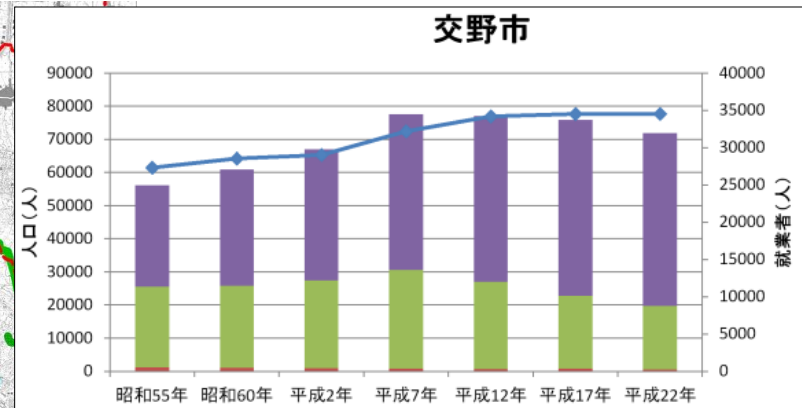
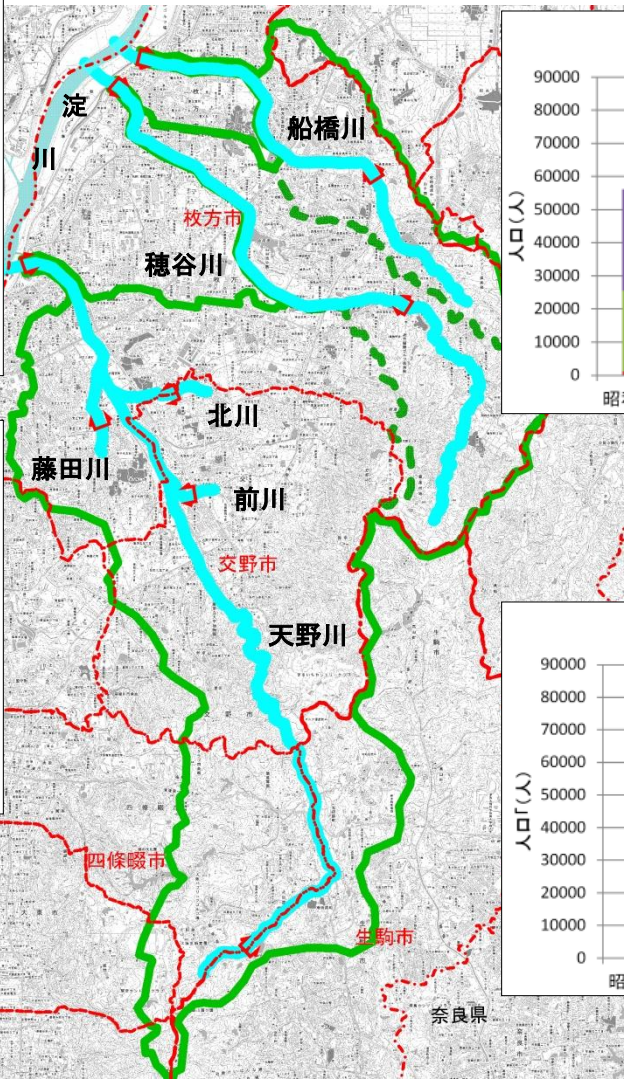
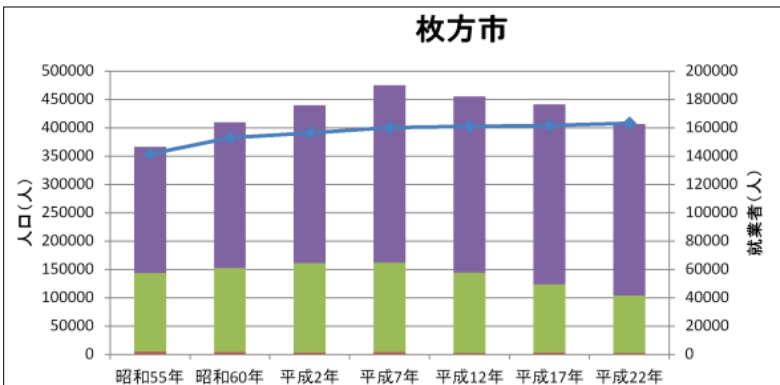


出典:「第二回自然環境保全基礎調査」(1981年) 環境庁

2. 淀川左岸ブロックの特性

●人口・産業

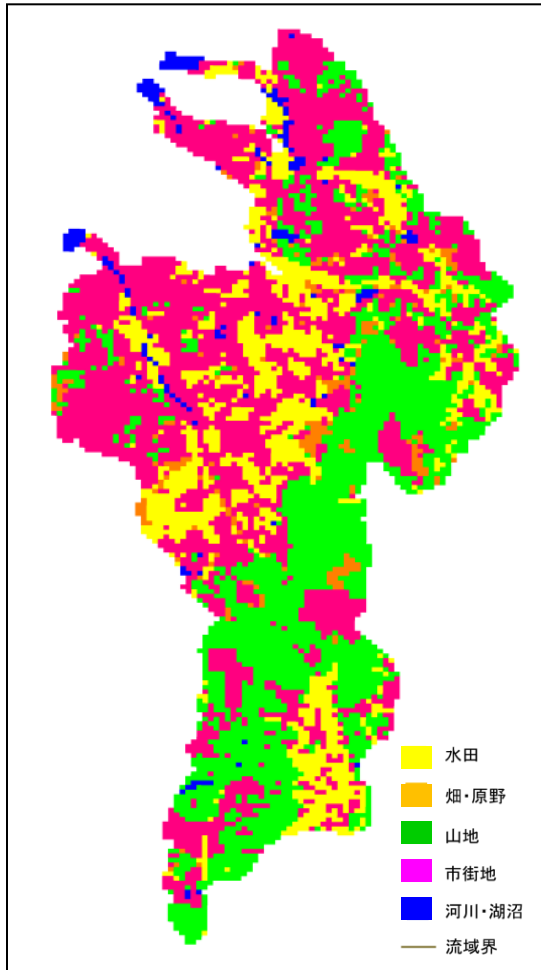
・淀川左岸ブロックの4市の人口は、現在ほぼ横ばいで推移している。就業人口は、平成7年前後から減少傾向となっている。



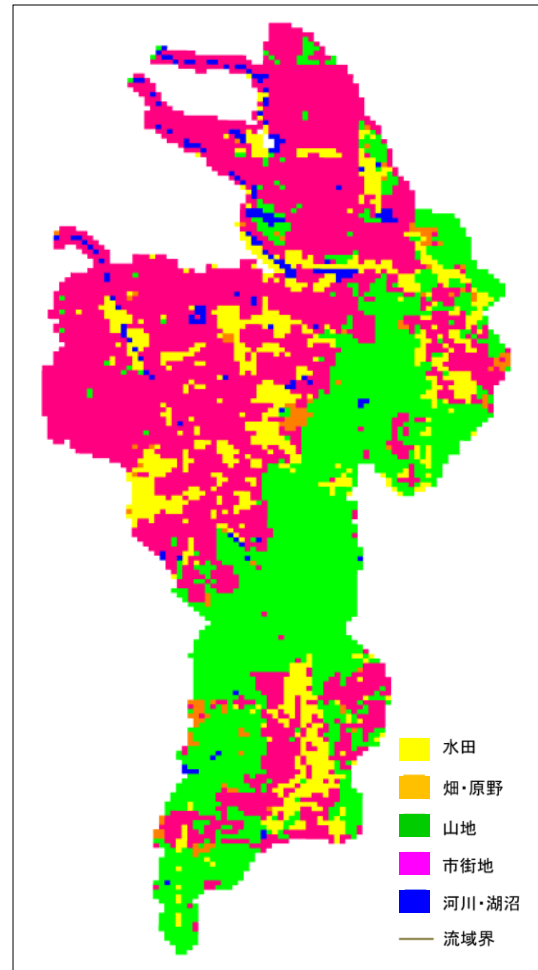
2. 淀川左岸ブロックの特性

●土地利用

- ・平成18年度時点では、市街地49%、山地34%とブロックの多くを占める。
- ・昭和51年からの推移をみると、水田の減少分がほぼ市街地の増加分となっている。



S51年土地利用状況図



H18年土地利用状況図

土地利用面積推移表

年 度		昭和51年	平成18年
市街地	面積(km ²)	37.35	41.46
	割合(%)	44%	49%
畑・原野	面積(km ²)	2.84	1.35
	割合(%)	3%	2%
水田	面積(km ²)	15.71	11.062
	割合(%)	19%	13%
山地	面積(km ²)	26.88	29.09
	割合(%)	32%	34%
河川・湖沼	面積(km ²)	1.92	1.74
	割合(%)	2%	2%
流域面積	(km ²)	84.71	

出典：国土交通省HP「国土交通省国土政策局 国土数値情報」

2. 淀川左岸ブロックの特性

●文化財

- ・大阪と京都を結ぶ交通の要衝となっており、多くの歴史文化遺産が残されている。
- ・天野川は「甘野川」と呼ばれていたが、河床の小石が輝いて見えたことから、「天の川」と名付けられたといわれている。また、全国に先駆け砂防事業が行われており、当時の砂防技術の高さを示す石積みの落差工や堰堤が残されている。

歴史・文化遺産一覧表







指定区分	指定名称	位置図番号	指定区分	指定名称	位置図番号
枚方市	国指定 片苙神社本殿	1	交野市	国指定 北田家住宅	20
	枚野車塚古墳	2		山添家住宅	21
	百済寺跡	3		木造阿弥陀如来立像(蓮花寺)	22
	禁野車塚古墳	4		木造薬師如来(獅子窟寺)	23
	巖島神社末社春日神社本殿	5		府指定 弘安地藏菩薩	24
府指定	片苙神社東門・南門・石造灯笼	1	市指定 薬師如来坐像・千体仏(薬師寺)	25	
	枚方田中邸のむく	6	十一面観音立像(星田寺)	26	
	田口山弥生時代遺跡	7	指定無し 東高野街道	27	
	正俊寺石造十三重塔	8	明遍寺	28	
	伝王仁墓	9	長宝寺後(郡津神社)	29	
	旧田中家主屋・鋳物工場	10	私部城跡	30	
	釈尊寺木造釈迦如来立像	11	機物神社	31	
	市指定	廃渚院観音寺鐘楼・鐘梵	12	神宮寺遺跡	32
		和田寺木造薬師如来立像	13	開元寺跡	33
		意賀美神社算額	14	岩倉開元寺跡	34
		清泰寺木造普賢菩薩坐像・文殊菩薩坐像	15	寺古墳群	35
銅造誕生釈迦立像		16	東車塚古墳	36	
三之宮神社の湯釜		17	森古墳群	37	
大聖寺薬師堂内厨子		18	須弥寺	38	
村野村高礼場		19	磐船神社	39	
四條畷市	府指定 住吉神社の石槽	43	星田妙見宮(小松神社)	40	
	指定無し 田原城跡	44	徳川家康陣営跡	41	
			尺治川・天野川砂防堰堤	42	

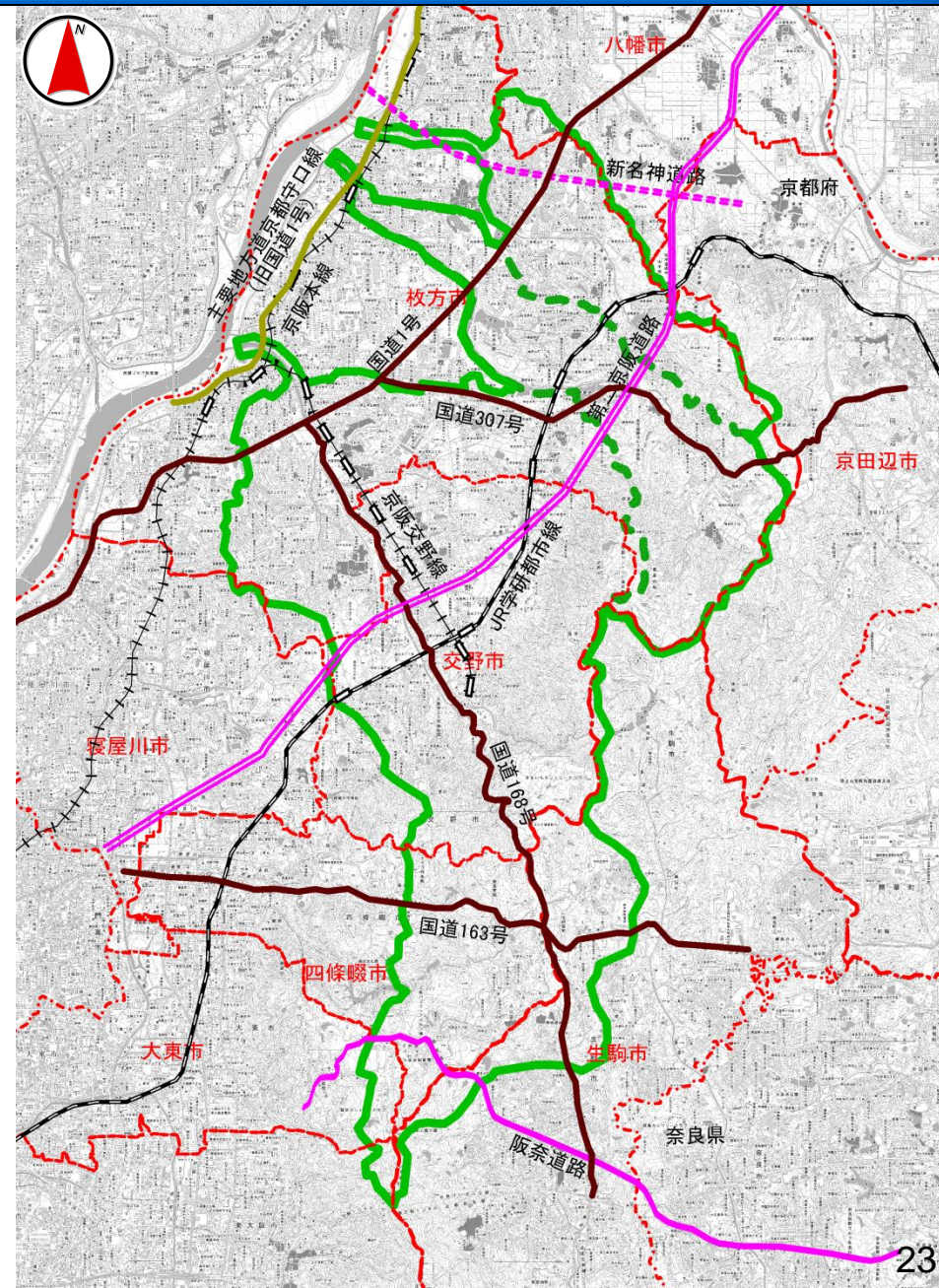
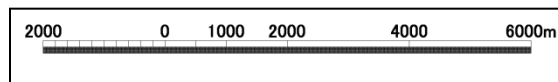


2. 淀川左岸ブロックの特性

●交通

- ・鉄道は、京阪本線やJR学研都市線、京阪交野線がある。
- ・幹線道路は、第二京阪道路、国道1号と旧国道1号が大阪と京都、国道163号、168号、307号が大阪と奈良、京都を結んでいる。

凡 例	
	JR
	京阪電車
	国道
	府道
	高速道路
	高速道路 (事業中)



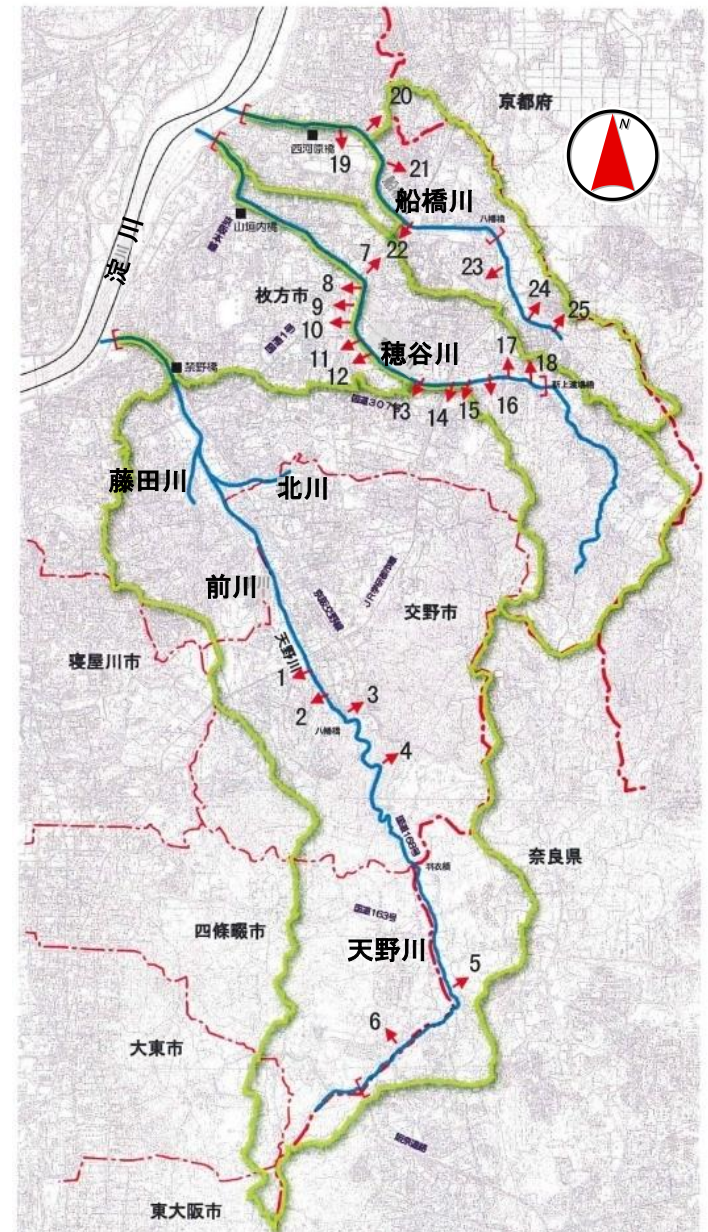
2. 淀川左岸ブロックの特性

●水利用

・流域内の河川水は、農業用水として取水され利用されている。

農業用水一覧表

河川名	NO	名称	許可・慣行
天野川	1	天野川左岸	許可
	2	向井川入口	慣行
	3	下加賀田取水口	慣行
	4	天野川取水井	慣行
	5	カズラ井堰	慣行
	6	芝之後堰	慣行
穂谷川	7	日置河原井堰	慣行
	8	片鉾水門	慣行
	9	通称水門	慣行
	10	地藏池伏越樋	慣行
	11	中宮大池取水樋門	慣行
	12	大峰取水樋門	慣行
	13	野村穂谷川取水用水	慣行
	14	藤阪水門	慣行
	15	穂谷川用水樋	慣行
	16	惣喜池取入堰	慣行
	17	杉取入堰	慣行
	18	仏所井堰	慣行
船橋川	19	五井の池取入堰	慣行
	20	森池取入堰	慣行
	21	ゴロゴロ樋	慣行
	22	新大池取入堰	慣行
八田川 (船橋川支川)	23	榊池取入堰	慣行
	24	長尾大池取入堰	慣行
	25	長尾大池下取入堰	慣行



取水位置図

2. 淀川左岸ブロックの特性

●空間利用

- ・市民と連携しながら、堤防へのサクラの植樹、高水敷等に設置された芝生広場や親水公園を利用した河川愛護活動が行われている。
- ・府民の森・ほしだ園地の他、川沿いにある交流拠点と連携した水辺プラザ等が水辺空間として利用されている。
- ・また、地元の環境保全グループによる清掃等が行われている。

河川名	名称・団体名	実施場所
天野川	アドプト・リバーNALC 天野川	かささぎ橋～天野川新橋
	アドプト・リバー 西禁野	かささぎ橋～天津橋
	アドプト・リバー 天野川を美しくする会	星のブランコ駐車場～逢合橋
	アドプト・リバー 宮乃阪	天津橋～禁野橋
	アドプト・リバー 星の町	天野川新橋～浜橋
	アドプト・リバー&ロード みんなの会	新天野川橋～上流川約100m地点
	アドプト・リバー 天野川を清流にする会	浜橋～藤田川合流(上流三角地帯)
	アドプト・リバー わいず倶楽部枚方	天津橋～天野新橋
穂谷川	アドプト・リバー 津田北町	満穂橋～津田北町1丁目
	アドプト・リバー 穂谷川ひまわりの会	穂谷川橋～片鉾橋
	アドプト・リバー 牧野阪	京阪牧野橋～馬場前橋
船橋川	アドプト・リバー めいしや船橋川	船上橋～新登橋
	アドプト・リバー 西船橋	西河原橋～樋之上京阪鉄橋
	アドプト・リバー 北山	小野田橋～ぼえむ橋
	アドプト・リバー 南船橋第3	新登橋～下流川へ約350m



天野川の清掃活動状況
写真出典:「アドプト・リバーNALC」JHP より

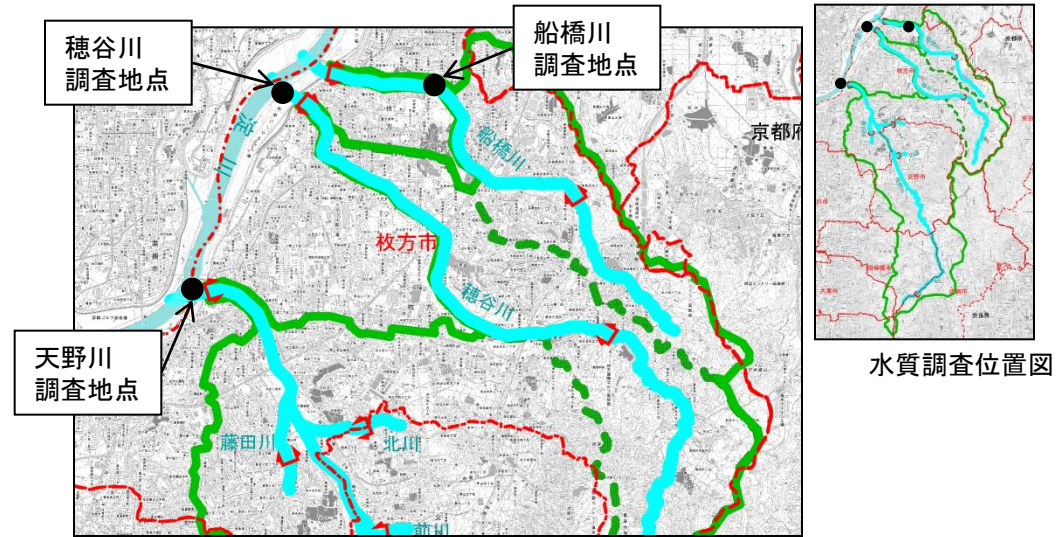
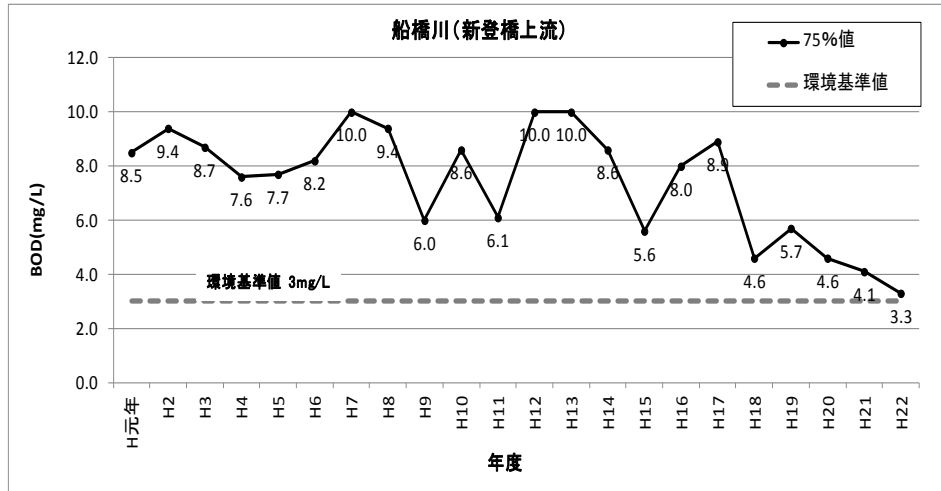


天野川水辺プラザ

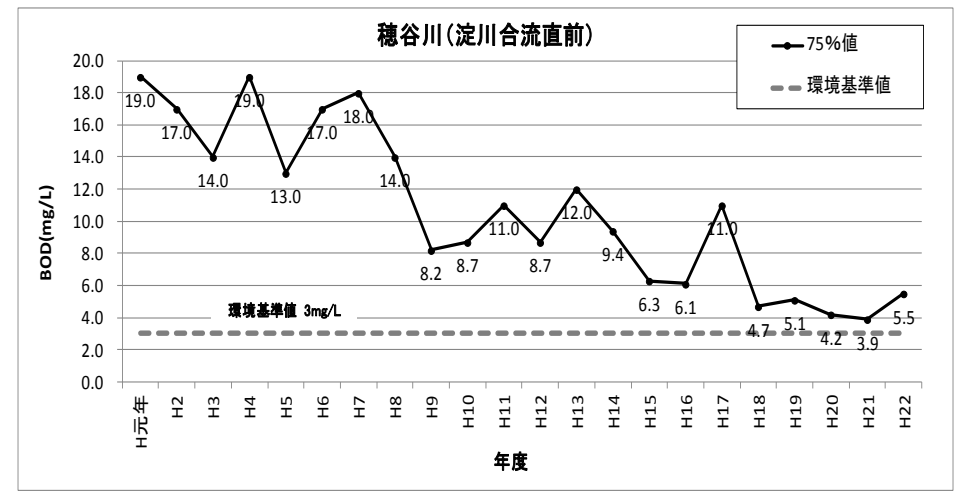
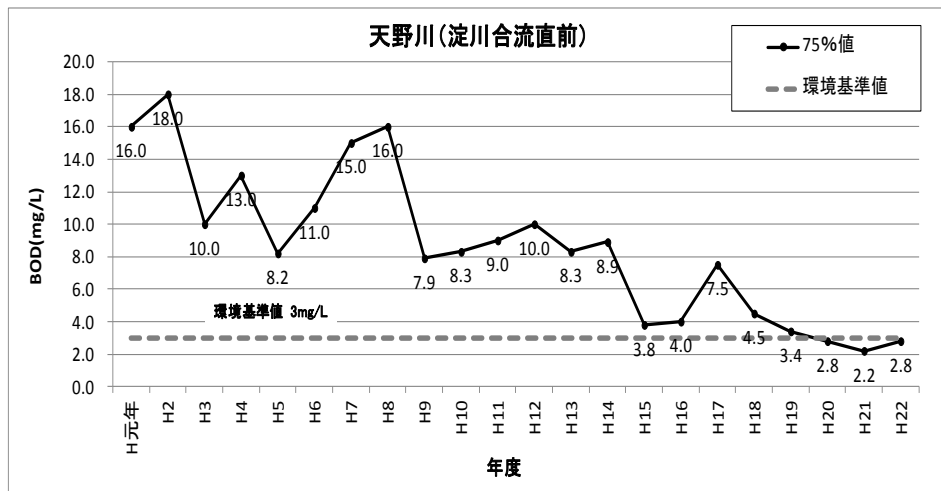
2. 淀川左岸ブロックの特性

●水質

- ・3河川とも、環境基準(B類型 BOD3mg/L)が指定されている。
- ・近年、3河川とも水質は改善傾向にあり、天野川は平成19年以降、環境基準(B類型 BOD3mg/L)を満足している。穂谷川、船橋川は未達成である。



水質調査位置図(拡大図)

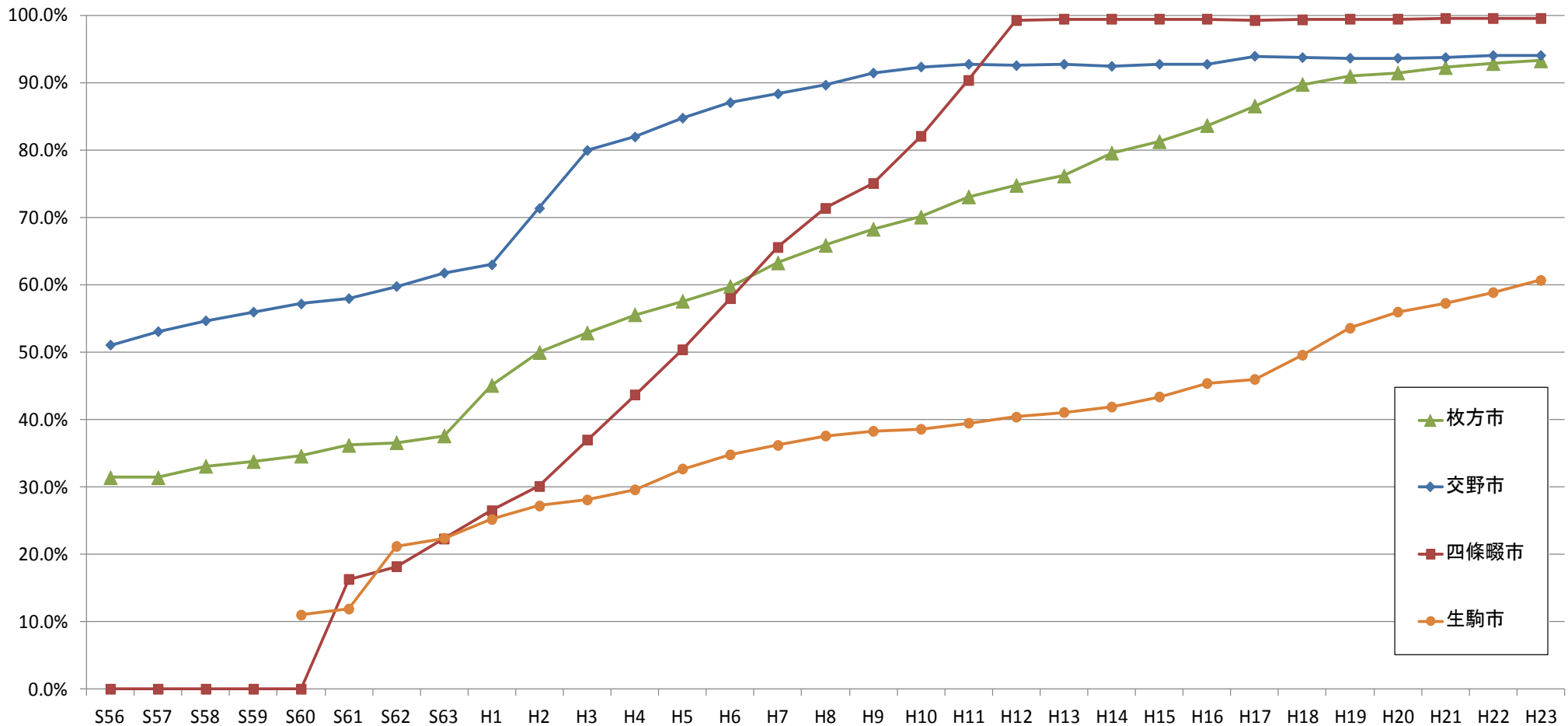


出典：大阪府HP「大阪府域河川等水質調査結果」

2. 淀川左岸ブロックの特性

●下水道普及率

- ・平成23年度末現在の下水道普及率は、枚方市93.3%、交野市94.1%、四條畷市99.6%、生駒市60.7%となっている。
- ・普及率の上昇とともに、河川の水質改善傾向が見られる。



3. 治水事業の概要

●治水事業の沿革

(1)天野川

- ・昭和42年7月北摂豪雨を契機に、昭和44年に全体計画策定、改修実施
- ・昭和63年3月に関西文化学術研究都市建設計画(田原地区)策定

(2)穂谷川

- ・昭和47年9月台風24号を契機に、昭和55年に全体計画策定、改修実施
- ・昭和63年3月に関西文化学術研究都市建設計画(氷室・津田地区)策定

(3)船橋川

- ・昭和30年代中頃計画策定、昭和30年代後半から昭和50年代前半にかけて改修実施

※淀川水系淀川左岸ブロック河川整備計画を平成15年4月に策定

改修状況表

河川名	改修状況
天野川 ・藤田川 ・北川 ・前川	淀川合流点～八幡橋まで80ミリ程度の改修済み、羽衣橋上流は65ミリ程度の改修済み 天野川合流点～学校橋まで80ミリ程度の改修済み 天野川合流点～出鼻橋まで80ミリ程度の改修済み 天野川合流点～砂子橋まで80ミリ程度の改修済み、砂子橋上流は50ミリ程度の改修実施中
穂谷川	淀川合流点～馬場前橋まで80ミリ程度の改修済み、上渡場橋下流で50ミリ程度の改修実施中
船橋川	淀川合流点～八幡橋まで80ミリ程度の改修済み

3. 治水事業の概要

●過去の被害状況

- ・天野川において、昭和42年7月の前線停滞による降雨で堤防が決壊し、甚大な被害を被り、全体計画策定の契機となった。また、昭和54年から昭和59年にかけて、台風や豪雨により、浸水被害が発生している。
- ・穂谷川において、昭和47年9月台風24号で、床上浸水340戸、床下浸水1200戸の浸水被害が発生している。

主な災害

河川名	水害発生日	時間雨量 (mm)	日雨量 (mm)	浸水面積 (ha)	浸水家屋 (戸)	備考
天野川	昭和42年7月北摂豪雨	41.5	121	不明	1908	枚方市他
	昭和54年6月～8月豪雨	18	94	1.1	90	
	昭和57年7月～8月豪雨、台風10号	54	134	2.0	—	四條畷市
	昭和58年8月豪雨	48	49	3.3	37	枚方市
	昭和59年6月～7月豪雨	41	52	0.1	4	交野市
穂谷川	昭和47年9月 台風24号	25	113	173	1540	枚方市
船橋川	記録なし	—	—	—	—	

4. 既往の治水計画の概要(天野川水系 北川、藤田川)

●計画流量算定条件

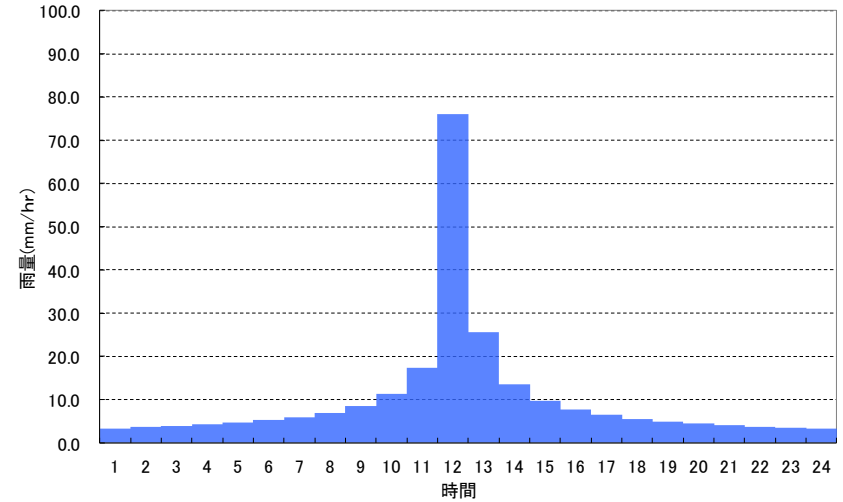
① 改修規模:1/100

② 対象降雨量

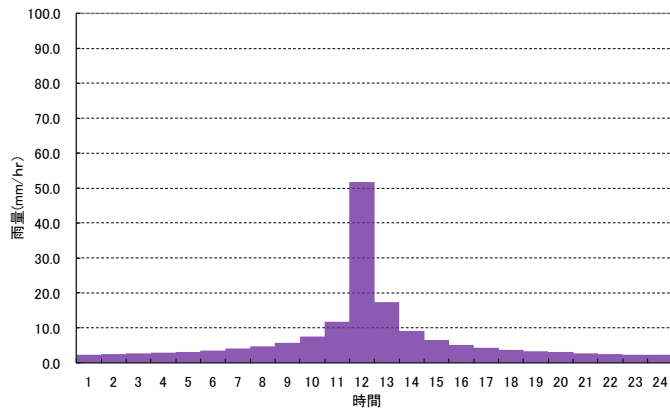
- ・計画時間雨量:76.0mm 計画24時間雨量:243.8mm
- 河内地区の降雨強度式より算出
- (「大阪府の計画雨量」平成8年3月)

③ 流出計算手法

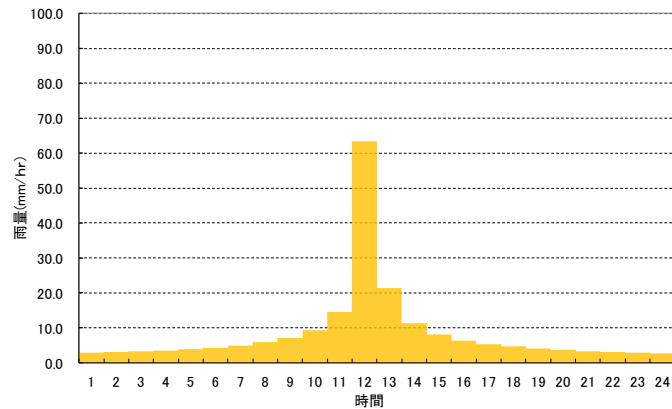
- ・合理式



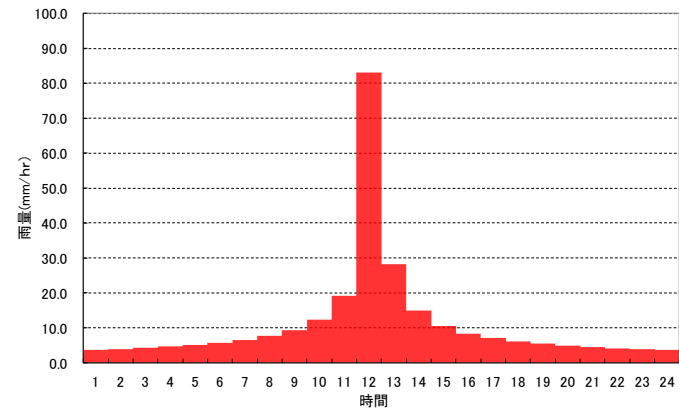
1/100年確率降雨(76.0mm/hr、243.8mm/24hr)



1/10年確率降雨(51.8mm/hr、165.0mm/24hr)



1/30年確率降雨(63.5mm/hr、203.0mm/24hr)



1/200年確率降雨(83.1mm/hr、267.1m/24hr)

4. 既往の治水計画の概要(穂谷川)

●計画流量算定条件

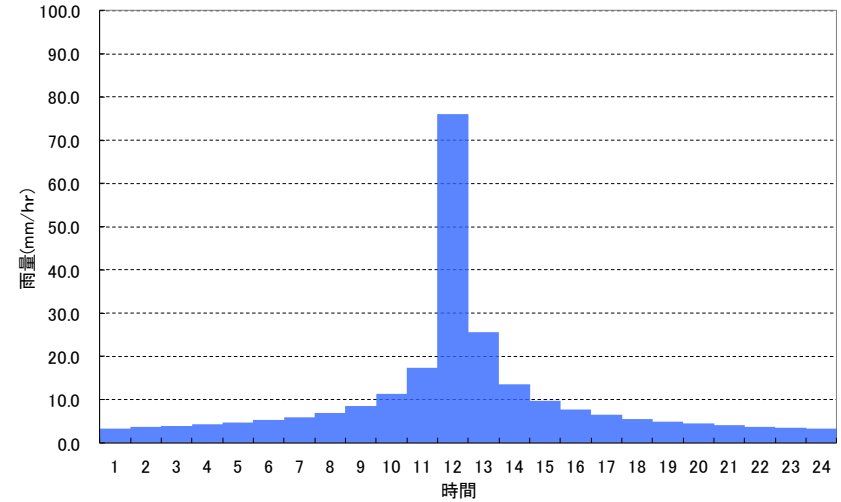
① 改修規模:1/100

② 対象降雨量

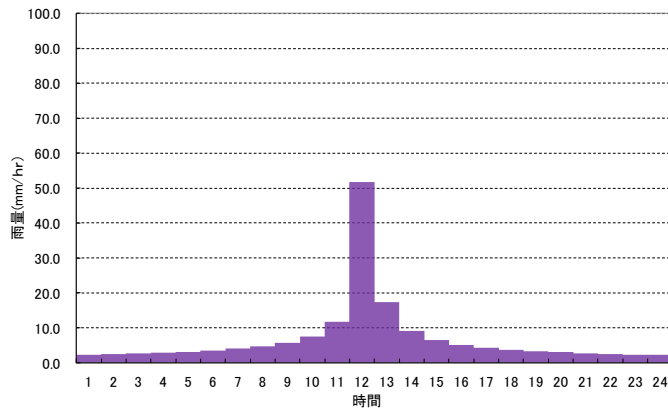
- ・計画時間雨量:76.0mm 計画24時間雨量:243.8mm
- 河内地区の降雨強度式より算出
(「大阪府の計画雨量」平成8年3月)

③ 流出計算手法

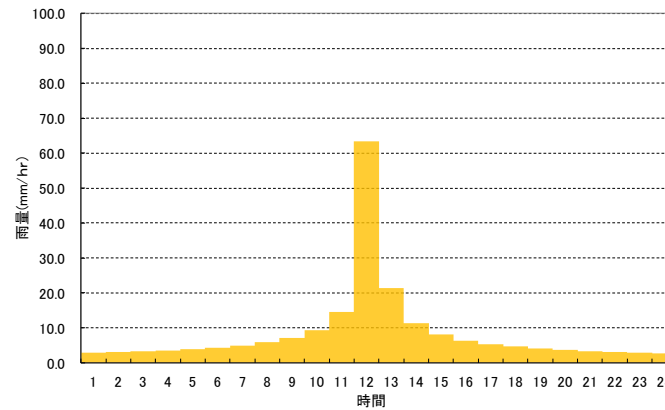
- ・合理式



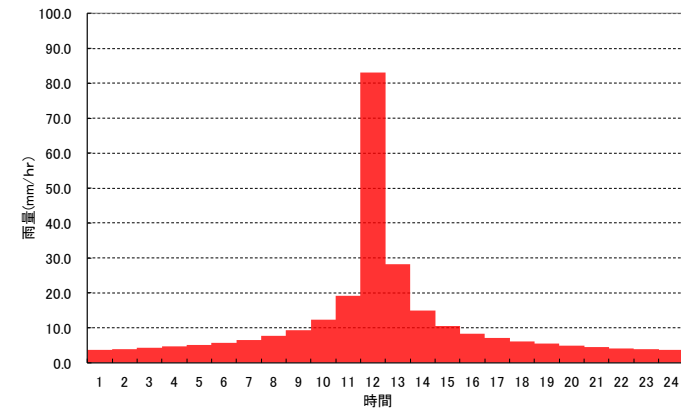
1/100年確率降雨(76.0mm/hr、243.8mm/24hr)



1/10年確率降雨(51.8mm/hr、165.0mm/24hr)



1/30年確率降雨(63.5mm/hr、203.0mm/24hr)



1/200年確率降雨(83.1mm/hr、267.1mm/24hr)

4. 既往の治水計画の概要(船橋川)

●計画流量算定条件

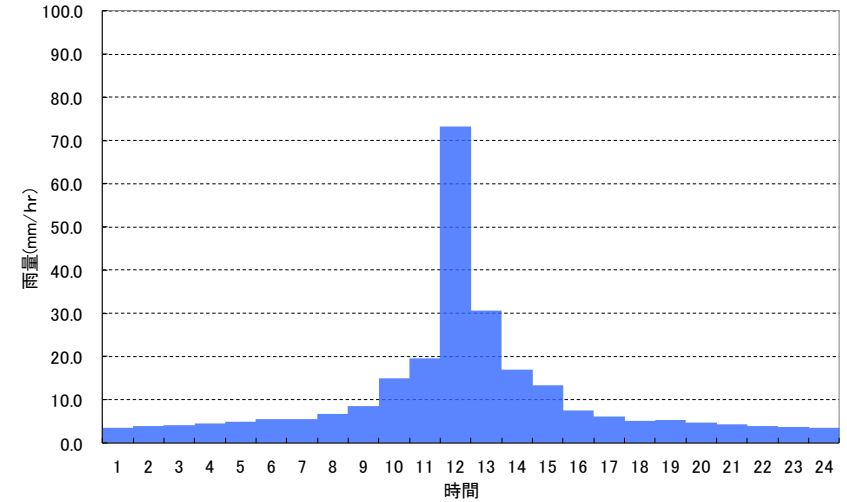
① 改修規模:1/100

② 対象降雨量

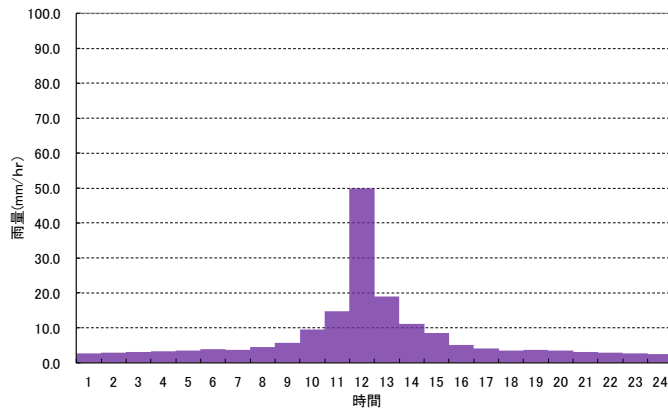
- ・計画時間雨量:73.2mm 計画24時間雨量:262.0mm
- 河内地区の降雨強度式より算出
(「大阪府の計画雨量」昭和53年12月)

③ 流出計算手法

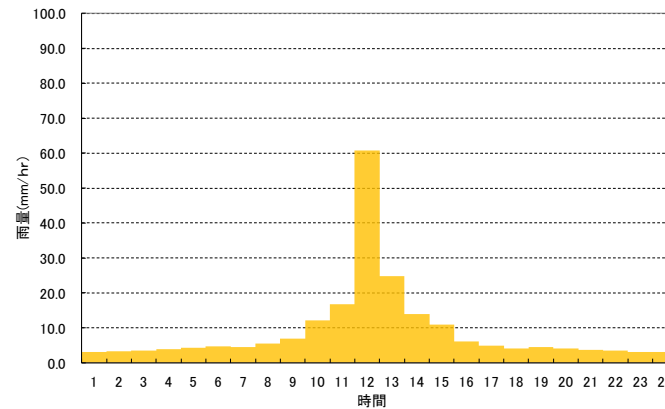
- ・合理式



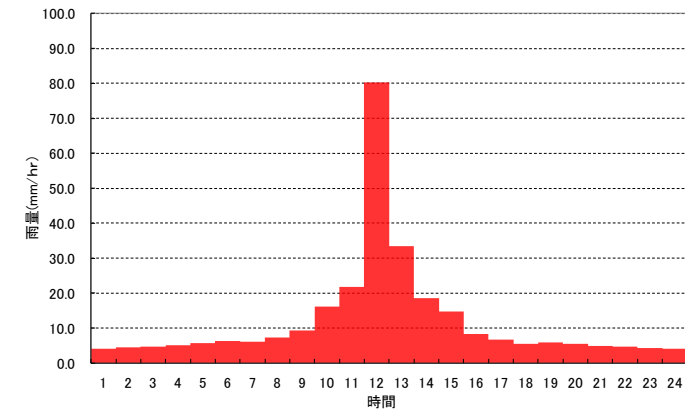
1/100年確率降雨(73.2mm/hr、262.0mm/24hr)



1/10年確率降雨(49.4mm/hr、175.2mm/24hr)



1/30年確率降雨(60.8mm/hr、217.1mm/24hr)



1/200年確率降雨(80.2mm/hr、287.9mm/24hr)

4. 既往の治水計画の概要

●流量配分図

